

東京歯科大学同窓会会報 第367号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2
会 務	3～9
理事会のうごき	9～10
学 術	11～13
母校だより	14～17
支部のうごき	18～22
ふるさと自慢	23
クラス会だより	24～32
OB会・グループ・サークルだより	33～35
すいどうばし	36
庶務日誌	37
逝去会員	38
追 悼	38～39
へんしゅうこうき	40
平成20年度評議員会・第114回定時総会報告	41～69

(表紙 野村 淳)

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～



合唱 東京歯科大学合唱団, 歯科衛生士学校学生有志及び合唱団「鯨」の皆さん



レコ鑑の皆様の協力で完成したレコード



ソリスト(左)阿部容子氏, 大藤裕子氏, 金谷良三氏,
平野忠彦氏と指揮・河地良智氏



第9の執行部・中村君(左), 澤田さん, 大野君



山中湖湖畔の合宿(昭和45年頃)

楽興の時

東京歯科大学管弦楽団の発祥は昭和2年故西堀一夫先生(S6卒)をはじめ有志により始まりました。その後、時代と共に編成を変えながら昭和39年入学した永井哲夫君, 板垣光信君, 鏡 宣昭君の3人を中心に「10年後に現役とOBで第9シンフォニーを!」の呼びかけに, 似鳥弘道君(S46卒), 松木英作君(S47卒), 広瀬 秀君(S47卒), 矢崎宣利君(S48卒), 渡邊洋子さん(S48卒), 駒橋邦雄君(S49卒)等を始め多くのメンバーが参加し, 昭和42年第1回定期演奏会を開催しました。

この時演奏した未完成交響曲では, 似鳥君のお兄さんで当時NHK交響楽団のOboe首席奏者・似鳥健彦氏に演奏とご指導を頂きました。

初めての練習でその音色に圧倒され指揮棒が振られても音を出すのを忘れ, N響の凄さを感じたものです。

昭和51年11月日比谷公会堂にて第10回目の演奏会となりました。

執行部は大野裕久君(S53卒), 中村正延君(S53卒), 澤田敦子さん(S53卒)の3人でした。

しっかりとした計画と実行力で陣頭指揮を執ったインスペクターの大野君, 常にソロバンと帳簿を抱えOBの負担すべき金額をガッチリと

請求し裏方を支えた会計の中村君, そして芸大を挑戦しようかと思わせる技量で演奏の責任者・コンサートミストレスを担ったのが美少女の誉れ高き澤田さんでした。

更に, この日の演奏会はレコード音楽鑑賞同好会の皆様が録音を担当し, 貴重なレコードとなったのです。

大学が水道橋から稲毛に移り管弦学部の活動も廃部寸前まで追い込まれました。しかし, 入学式でOBの有志が駒橋君の指揮で国歌・校歌の演奏を続けるうちに, 学生も少しずつ増え平成5年定期演奏会の復活までこぎ着け現在に至っています。

年度を異にすれば, 顔も名前も知りませんが, 大学のクラブ活動で楽興の時を過ごした思い出が, 後輩に充実した学生生活を送るために少しでも手助けになればとOB会は活動しています。

(昭和44年卒・高市 武 記)



第21回定演でブルッフを弾く西山和秀君(当時5年・H12卒)



指揮する駒橋君(写真・大学学生課)

🎻 苗字は学生時代の時のものです。



第25回定演で大役を果たしたOB二人小川 学君(S51卒左)と岡崎 真君(H9卒)

「変革と発展」への思考



副会長

片 倉 恵 男

東京歯科大学は再来年創立120周年を迎えるに当り、メインテーマに「継承と発展」を掲げましたが、これは本学が歯科界のリーダーとして養ってきた伝統を後世に継承し、今後も更なる歯科医学界の発展へと導いていくことを意味するとのことでした。

一方本年1月に発足した東京歯科大学同窓会の大山執行部は、「変革と発展」を目指し和衷協同を以って会務に全力を尽くすことを目標に掲げました。

私は数年前に上原春男著「成長するものだけが生き残る」(サンマーク出版)を読んだことを思い出します。この著者は工学博士の立場で個人と組織とを問わず「成長は人間にとって不可欠」であることを、説得力ある論法によって分かり易く解説しております。

母校は「キャンパスの水道橋移転」を決定し、大学当局はその理由を同窓はじめ各方面に伝えるべく懸命の努

力をしておりますが、それはまさに「生き残るために成長する」道を選択したものと私は理解しております。

移転については賛否両論があり、反対者の中には多くの同窓に書簡を送り自説を訴える人もあり、各地の同窓会支部においても移転に疑問を持つ人や反対を唱える人が少なからず居ることも確かです。そしてこれらの人々は全て母校を愛し、母校に思いを馳せる人達であることは間違いありません。しかし、大学の説明を待つまでもなく、益々進む少子化や歯科大学・歯科医療界の現状を分析し、将来を展望した時私は「移転＝成長」と判断するのが妥当であり、その他の事情をも考慮すれば移転やむなしと考える1人です。(但しサブプライム問題から派生した世界的金融・経済異変が、本事業に与える影響は非常に懸念されるどころです)

我々は医療人であるが故に日常臨床においては「万一の場合の備え」は必須であると共に“歯科医師である前に人間たれ”という血脇イズムは、東歯同窓の多くが胸に刻んでいる筈です。即ち人間性豊かな医療人であれば“琴柱に膠して瑟を鼓す”(史記)の教訓を胸に収め、常に臨機応変の対応が出来なければならないと思います。昨年発生した同窓会に関わる「一連の出来事」では、この訓えをしみじみと感じたものでした。

大山執行部は、会員のために如何にあるべきか、会員の浄財を如何に使うべきかを熟慮して、会務執行に努めておりますが、そのひとつとして、経費節減を計るために旅費規程の改正を理事会で決定致しました。また7月には「会則等検討委員会」を設立し、会則の適正・合理化のため数項目について諮問し、答申を受けて先月の評議員会・総会で可決を頂きました。

本年は多くの問題を抱える中での評議員会・総会の開催となりましたが、活発な意見・質疑が交わされながらも「東京歯科大学らしい」爽やかで感動・感銘を覚える閉幕となったことが実に印象的でした。

次年度予算編成に当っては、経費の有効活用と事業の活性化を計るために「事業計画検討会」を発足させました。どのような変革が真の発展に繋がるかを思考しつつ、「会員のために」を第一義として、会員が信頼を寄せ魅力を感じる同窓会たるべく、役員一同今後一層奮励しなければならないと思います。

母校が熱田理事長による新体制のもと、多難な時局を乗り越えなければならない今こそ、大学・同窓一丸となり“俯仰天地に愧じず”(孟子)を肝に銘じ、歯科界のオピニオンリーダーを自負すると共に、「東京歯科大学の底力」を発揮して、輝かしい120周年を迎えようではありませんか。

お知らせ

理事会より

- 11月22日の評議員会において東京歯科大学同窓会会長賞が、3名の先生方に贈られた。
これは、大学院の論文に対する評価を表したもので、大学院研究科からの推薦により決定される。3先生には今後、大学での後輩の育成に力を注いで頂きたい。
会務7ページ～9ページに詳細記載。
- 評議員会で可決された共済規程の一部変更についてのお知らせを同封しております。ご確認ください。
- 同窓会本部の年末年始のお休みは、平成20年12月27日（土）～平成21年1月4日（日）までです。

同窓会事業・行事

- 平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会
と き 平成21年1月28日（土）
ところ 如水会館（千代田区一ツ橋2丁目）

●TDC 卒後研修セミナー2009プログラム

臨床実技セミナー

- No.1 MTM 基礎コース
～明日から使える MTM～
4月18日(土)・19日(日)
- No.2 新素材、歯冠修復の新たな潮流
～メタルフリー修復を臨床にとり入れよう～
5月24日(日)
- No.3 全身管理と偶発症に強くなろう
6月21日(日)
- No.4 根管形成法・根管充填法の基本と応用
～根管治療のあたらしい3S(Safety Speedy Surely)～
9月6日(日)

基本技術セミナー

- No.5 フラップ手術の基本
～for beginners～
7月12日(日)
- No.6 1枚のX線写真からみられること
～デンタルパノラマX線撮影のコツと読影～
10月4日(日)

卒研フォーラム

- No.7 歯科医療の将来へ向けて
～国民歯科医療の充実とは～
11月8日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部
Tel. 03-5275-1761

母校関係行事・案内

●平成21年度 東京歯科大学 入学試験情報

入学種別	募集人員	出願期間（必着）	試験日	合格発表日	会場
一般入試Ⅰ期	約50名	12月4日(木) ～1月27日(火)	2月2日(月)	2月5日(木)	千葉会場（東京歯科大学千葉校舎） 大阪会場（天満研修センター）
センターⅠ期	20名			2月10日(火)	
一般入試Ⅱ期	約10名	2月23日(月) ～3月11日(水)	3月14日(土)	3月17日(火)	東京歯科大学水道橋校舎
センターⅡ期	5名				

平成20年度評議員会 第114回定時総会報告

— 120周年記念事業について理事長、学長が評議員会で説明 —
— 同窓会共済規定変更ならびに会則変更議案通過する —

平成20年度評議員会は、平成20年11月22日(土)午前10時から、飯田橋にあるホテルメトロポリタンエドモントにおいて開催された。関泰忠専務理事の司会のもと、江崎梅太郎副会長の開会の辞で評議員会は始まった。点呼は受付の署名をもって替え、評議員総数158名中、出席126名(10時現在)で会議は成立した。

大山萬夫会長の挨拶は、別掲の通りである。次に関専務理事より来賓の紹介があり、来賓を代表して熱田俊之助理事長、金子 讓学長よりご挨拶をいただいた。その要旨は別記の通りである。

議長・副議長の選出

司会者に一任となり、議長に八南支部・池田恒彦評議員、副議長に日齒代議員・加藤木 健評議員が選出された。議事録署名人には横浜西部支部・島田英明評議員、渋谷支部・山崎秀雄評議員が議長より指名された。

報 告

報告に先立ち、代理出席者の承認が諮られ承認された。次いで137名の物故会員に対して全員黙祷を捧げた。平成20年度会務全般の報告が関専務理事よりあった。次いで佐藤晃一会計担当常任理事から平成20年度会計現況報告がなされた。

(大学創立120周年記念事業)

関専務理事より大学創立120周年記念事業について、同窓会としての取り組みについて次の説明があった。「同窓会報6月号、8月号に井

上前理事長、金子学長の記事、また『金子学長と大山会長の座談会』において事業計画の内容について会員の皆様にお知らせしております。昨年度の評議員会で賛同を得た事業計画「母校創立120周年事業に協力する。」に基づいて取り組んでまいります。記念式典については全面的に協力いたします。水道橋移転につきましては大学と連絡を密にして移転状況を先生方にお知らせしていきます。このような形で同窓会は120周年記念事業に協力していきたい。」

(事前質問について)

今回も昨年と同様に議事進行を円滑に行うため事前質問を受けたところ、8名の評議員から11題の事前質問があった。

1) 滋賀県・曾我宏世評議員より「大学の水道橋移転について」「大学の科研費の不正使用について」又、千葉県・曾我部 勉評議員より「水道橋移転における校地確保につい

て」の質問があった。

関「これは大学へのご質問であり、すでに金子先生のご挨拶の中に回答があると考えます。」

関連質問「大学は同窓会に対してどの程度の寄付金を予定しているのか」

金子学長「まだ決まったわけではない。同窓会長とも相談して決めていきたい。」

関「これは大学側の話であり、同窓会としては120周年事業がどのような形で進展していくかを見極めながら、話し合いの上で先生方の意見を聞きその金額を決めたいと思っている。」

2) 北信・水橋 巖評議員、板橋・森岡俊介評議員より「臨床研修医、卒業直後の会員に対する会費徴収について」質問があった。

関「会則にかかわる問題で会則等検討委員会にて検討していきたい。」



3) 麴町・遠藤孝平評議員より「いわゆる本部会員の存在について」質問があった。

関「本部会員の存在については、本来会員は支部を通じて会費を納めることになっているが、支部を経ないで本部会費のみを納めている会員が千余名存在する。」

4) 兵庫県・宗本匡由評議員からは「地域支部連合会は年に一回総会を開催するという規約がある。地域によっては、開催が困難であるので、規約の改正又は十分な金銭的援助を行うべきだと思う。」

関「同窓会は親睦団体であり、できる限り一年に一回開催していただきたい。総会に対して幾分かの本部からの援助はできる。」

5) 板橋・森岡俊介評議員より「旅費交通費を下げるべきではないか。」

関「全国の状況を見ながら検討していく。」

6) 富山県・金川直博評議員からは「『前同窓会々長の手紙』が会員に配られている同窓会の現在の状態は残念である。同窓会が一丸となって、意思の疎通を図る同窓会にしていいただきたい。」

関「全く同じ考えである。」

7) 墨田支部・中西国人評議員より「総合政策費積立金は120周年記念事業に転用することは可能か」

関「120周年記念事業が具体化した時点で検討課題としたい。」

議 事

第1号から第5号議案までの平成19年度決算関係の議案が一括上程



され、佐藤常任理事ならびに中島信也総務担当常任理事より議案の説明があり、浅野薫之常任監事が監査の結果を報告した。質疑の後、第1号より第5号までの議案が原案通り可決承認された。第6号議案は中島常任理事より議案の説明があり、原案通り可決承認された。第7号から第10号議案までは一括上程され、関専務理事、佐藤常任理事より議案の説明があり、各号に質問を受け第7号より第10号議案まで原案通り可決承認された。引き続き、第11号から第13号議案が一括上程された。質疑の後第11号から第13号議案は可決承認された。第14号議案は、東京歯科大学名誉教授奥田克爾先生(前微生物学講座)、同じく東京歯科大学名誉教授高橋正憲先生(前市川病院)のお二人を名誉会員への推薦で、可決承認された。第15号と第16号議案、共済規程の変更ならびに共済負担金についてが一括上程さ

れた。野上宏一厚生担当常任理事より説明があり、質疑の後両議案とも可決承認された。共済負担金の変更に伴い11号議案共済金について変更が承認された。第17号議案、同窓会会則一部変更は中島常任理事より議案の説明があり、質疑の後可決承認された。第18号議案、一連の事件にかかわる対応について、関専務理事より執行部案の説明があり、その後色々意見が出たが、執行部案どおり可決承認された。

協 議

執行部また会場からは協議題は提出されなかった。

平成20年度叙勲・褒章受章者の顕彰式ならびに同窓会会長賞表彰式

中島常任理事より平成20年度に叙勲・褒章を受章した6名の紹介があり、大山会長より顕彰状と記念品が伝授された。代表して高添一郎名誉教授より謝辞が述べられた。

次に今年で3回目の同窓会会長賞





表彰式に移り、最優秀賞に福山賀子氏、優秀賞に、鈴木憲久氏、鏡明祥氏の3名にそれぞれ大山会長より表彰状と金一封が伝授された。

服部玄門副会長の閉会の辞で本年度の評議員会は終了した。

第114回同窓会定時総会

第114回定時総会は関専務理事司会のもと柳 清二副会長の開会の辞で始まり、会長挨拶の後、議長に加藤木 健会員、副議長に池田恒彦会員を選出、また議事録署名人に谷繁信会員、石原 忍会員が指名され総会が進められた。まず関専務理事より平成20年度会務報告、池田恒彦評議員会議長より評議員会報告、佐藤常任理事より平成21年度予算関係の報告があった。議事に入り、平成19年度決算関係並びに財産目録の

第1号～第6号議案提案の後、原武仁監事の監査報告がありそれぞれ審議され可決承認された。

協議については、執行部、各会員からも上程されなかった。そして、最後の第7号議案の会則の一部変更についても可決承認された。

片倉恵男副会長の閉会の辞で総会は終了した。

総会終了後、多くの会員が懇親会に出席し和やかな雰囲気の内を終了した。

評議員会挨拶

大山会長挨拶



「私たち執行部は大学の同窓会としてどのようにしたらよいのか」

原点に戻って「同窓会員の福祉、相互の親睦そして大学の後援」を同窓会の本部の活動基盤といたしました。またこのような原点に立ち返ることにより強力な同窓会が復興すると考えております。「変革と発展」を基本姿勢とし、またみんなで一つの問題を考え協力していきましょうという和衷協同の精神で一年間やってまいった次第です。

同窓会報でこれまでご報告してまいりましたが、これまでの経過を総括いたしますと、昨年5月の事件については穏やかな形で進めてまいり

たいと思っておりましたが、諸般の事情から「謝罪と決意」という文面を同窓会報に折り込み、事情の説明とともにお詫びをした次第です。

同窓会報は会員の皆様とのコミュニケーションの唯一のルートです。しかし「大学とのコミュニケーションがなかなかとれない。」と地方に参りまして言われたことでもあります。できるだけ同窓会報の間口を広げてやっていこうということで大学の情報を載せるようにいたしました。

主な根幹的な事業はそのまま続けてまいるつもりです。来年の卒後研修セミナーも継続してまいります。本日の資料に来年の受講のパンフレットが同封されております。

総務につきましては会則の見直し、また来年は同窓会名簿発行の年にあたりますが、個人情報保護法を考えてやってまいります。

厚生部は共済についても政府のほうから縛りがきつくなっています。本日も改正をお願いしています。

保険部につきましては「保険の手引き」をお配りしておりますが、保

険部の先生が苦勞して作られたものです。どうかご活用下さい。

情報部でございますがインターネット、HPの管理維持をおこなっております。

本部といたしましては細かく事業を見直しております。「同窓のための同窓会である。」ということを基調に持っておりますのでご希望を言っていただきまして、それに添えるものは沿っていきたく思います。

最後に120周年記念式典、事業については同窓会報において、金子先生と私の座談会など何度も報告しております。情報が先回りし、資金、移転はどうするのだろうかなどいろいろなご質問を受けます。今日はサブプライム問題のなか、大学がどのようにしていくのか理事長先生、学長先生もいらっしゃいますので、特に学長先生には時間を割いてお話しさせていただきます。是非虚心坦懐に聞いていただくとありがたいと思っております。

120周年記念事業についての理事長，学長説明要旨

熱田理事長挨拶要旨



『私は東京歯科医学専門学校を昭和24年に卒業いたしました。一開業医であります。』という自己紹介でご挨拶は始まりました。大学の変革，120周年記念事業について千葉校舎から水道橋への移転についての概要についてお話をされました。特に120周年記念事業については，次のように述べられました。『120周年記念事業に関しては規模を少し縮小して，簡素なものにして実施をするということで，すでに実行委員会等でその縮小計画も立てている。』また『現在のTDCビル，近くの駐車場を中心に計画を立てているのが実態です。それだけで現在のあの規模の大学の移転ができるかという，情勢は大変厳しいものがある。あと200坪程度の土地が近隣に欲しいというのが現在のところでございます。』また大学移転に対しては次のように力強く決意を述べられました。『井上理事長時代に決議した千葉校舎の大学移転に関しては，私はこれを継承するところにお誓い申し上げます。またこれから十分な協議を重ね，同窓会報等なるべくスピーディーに先生方にお知らせするようにして参りたいと思っております。』

金子学長挨拶要旨



(科学研究費の不適正使用)

10月中旬科学研究費，公的資金の不適正使用ではメディアに公表することになり，同窓の皆様にはご迷惑をおかけしました。お詫びを申し上げます。科学研究費の調査を大学内で自主的に行ったところ，5名の不適正使用があった。(その中には私の平成12年，また13年などの件があった。)カラ出張，個人流用ではなく犯罪性のない不適正使用であり，一部新聞で「不正」「裏金」と報道されたが法的な問題は含まれていない。大学では対象者に対して処分を行っている。科学研究費は個人への助成であり大学ぐるみの問題ではない。大学への一般経常費の補助金，また特別経費の補助金への影響はほとんどなかろうと想定している。

しかしながら国民からの税金という公費の不適正使用であり，大学の自主的調査と自浄作用を働かせたとはいえ，不名誉なことでお詫びをするとともに今後に生かしていく所存です。

(120周年記念事業)

120周年記念事業に関しては，同窓会報6月号に掲載以来進展あるいは変更はありません。昭和第一高校

の土地に関しては昭和第一高校側より「東京歯科を第一の交渉相手にする」という交渉権が決定されているが，向こう様の都合もあり実際の打ち合わせはしていない。消滅ということも考えられる。駐車場では400坪の矩形の土地にすべく努力している。この土地は学生棟になると思っている。ここに血腸ホール，資料室が設置されることになると考えている。しかしながら容積的にも少なくともあと200坪ほどの土地がほしいと思っている。

稲毛の土地は半年ほど前には金額提示した業者もいたが，現在はその話はなくなっている。水道橋病院では毎年2億円赤字が減らない状態である。10年後では累計20億の赤字も考えられる。お金の算段は私学振興財団で校舎の建替えに対して低利(1%)で貸し付けをしている。これを利用し，時期を見て稲毛を売却することも可能ではないかと考えている。千葉，水道橋，市川の三つを維持することはまず不可能である。稲毛校舎を残すとすれば，水道橋の病院を閉鎖または売却するしか道はない。確定をした計画はできないが，土地の手当てをしていく。(現在土地を買うのは良い時期だと考える)確定した設計図など計画を立てる段階に現在ない。

(大学の報告) 人事，入学試験 国家試験 等について話された。

第3回東京歯科大学同窓会会長賞について

東京歯科大学同窓会会長賞は、東京歯科大学同窓会が創立110周年を記念して母校の人材育成に寄与することを目的として平成17年に創設したものである。本賞は、本学大学院歯学研究科において、優秀な学位論文を作成し、優秀な成績で課程を修了したものに対して、授与するものである。

第3回目となる本賞の募集及び選考については、第576回大学院研究科委員会（平成20年7月9日開催）において講座・研究室主任を通じ学内に広報された。5名から申請があり、大学院研究科長を選考委員長とした選考委員会において厳正に審査された結果、3名（会長賞1名、優秀賞2名）を選出、第578回大学院研究科委員会（平成20年10月15日開催）の了承を得て、同窓会に推薦された。同窓会理事会の決定により第3回受賞者は下記の3名となり、同窓会評議員会（平成20年11月22日開催）にて表彰されることとなった。なお、3名とも大学院修了後の身分は異なるが、大学に籍を置き、後進の指導にあたっている。

第3回東京歯科大学同窓会会長賞

○同窓会会長賞（1名）

歯内療法学講座 福山 賀子(平成20年3月修了)

○同窓会優秀賞（2名）

口腔外科学講座 鈴木 憲久(平成19年3月修了)

生化学講座 鏡 明祥(平成18年3月修了)

歯内療法学講座 福山 賀子(平成20年3月修了)

論文名：Hypoxia Induces Expression and Activation of AMPK in Rat Dental Pulp Cells

雑誌名：Journal of Dental Research (86(9)：2007, 903～907)



局所麻酔薬に含まれる血管収縮薬や、炎症などから喚起される歯髄の循環障害は、歯髄の保存を考慮する上で臨床的にも極めて重要である。本研究は、低酸素状態によりAMP/ATPを感知するAMP活性化プロテインキナーゼ(AMPK)の発現と活性化に注目し、低酸素状態に対応する歯髄細胞の反応を明らかにすることを目的とした。

ラット歯髄細胞株RPC-C2Aを用い、AMPKサブユニット isoform の構成を明らかにした後、低酸素環境の細胞増殖に及ぼす影響、AMPKの各 isoform の発現と活性化、また、AMPKと低酸素に対応する重要な転写因子であるHIF-1 α の発現との相互関係をウエスタンブロット法で詳細に検討した。その結果、1) RPC-C2A細胞におけるAMPKサブユニット isoform の構

成は、触媒サブユニット α 1、調節サブユニット β 1、 γ 1であること、2) RPC-C2A細胞の増殖は低酸素環境下で早期に抑制されるが、AMPKとHIF-1 α の発現とAMPKの活性化に伴い回復すること、3) AMPK α 1の発現をsiRNAで抑制すると細胞増殖が抑制されたが、HIF-1 α の発現への影響は認められなかったことを明らかにした。これらのことから、AMPKがRPC-C2A細胞株における低酸素ストレスに応答し、細胞の存続ならびに増殖に関与しているが、HIF-1 α の発現はAMPKに対し非依存性に制御されていることが明らかとなった。

本研究で得られた結果は、歯髄の創傷治癒過程の解明につながり、今後歯髄保存療法や歯の移植などへ応用することによりさらなる発展が期待できる。

口腔外科学講座 鈴木 憲久(平成19年3月修了)

論文名: Mutation of the *p16/CDKN2* gene and loss of heterozygosity in malignant mucosal melanoma and adenoid cystic carcinoma of the head and neck

雑誌名: International journal of oncology (31(5): 2007, 1061~1067)



粘膜悪性黒色腫 (Malignant Mucosal Melanoma: MMM) と腺様嚢胞癌 (Adenoid Cystic Carcinoma: ACC) は、頭頸部悪性腫瘍の中でも特に悪性度が強く、治療が非常に困難な疾患であることが良く知られている。これらの疾患に対して、現在最も有効であるとされている治療法は、放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院で行われている重粒子線による放射線治療である。しかし、組織型も発生母地も全く異なるこれらの疾患に対して、なぜ同一の治療が特異的に著効するのか、と言う理由は、まだ解明されていないのが実状である。そこで、本研究では粘膜悪性黒色腫と腺様嚢胞癌にまだ知られていない遺伝子上の共通点があるのではないかと仮定し、分子生物学的手段を用いて解析を試みたものである。

本研究では、粘膜悪性黒色腫患者12名、腺様嚢胞癌15名という過去に報告の無い多数の患者から採取した腫瘍 DNA に対し、PCR-LOH 法、PCR-SSCP 法、DNA

オートシーケンサーを用いた遺伝子配列の検索といった分子生物学的解析手段を用いて、遺伝子解析を行った。その結果、第9番染色体短腕上に存在し、細胞周期の制御を行っている *p16/CDKN2* 領域、第4エクソン上の第225コドンと第226コドンに粘膜悪性黒色腫と腺様嚢胞癌に共通した遺伝子変異が認められた。

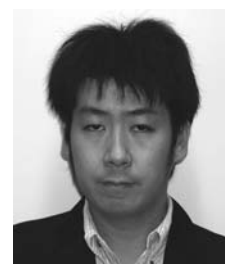
本研究の結果より、*p16/CDKN2* 領域の遺伝子異常が粘膜悪性黒色腫と腺様嚢胞癌の発生、進展に関与している可能性が示唆され、また、*p16/CDKN2* 領域は細胞周期に関与していることから、細胞周期を問わずに奏効する重粒子線による放射線治療の効果の理由とも考察することができる、と考えられる。

以上より、本研究の結果は全く異なる二つの悪性腫瘍に対して、遺伝子的共通点を発見した、と言う点において、今後の医学の発展に貢献できるものであると考えている。

生化学講座 鏡 明祥 (平成18年3月修了)

論文名: One of two *gbpC* gene homologues is involved in dextran-dependent aggregation of *Streptococcus sobrinus*

雑誌名: Oral Microbiology and Immunology (22(4): 2007, 240~247)



S. mutans と *S. sobrinus* はヒト齲蝕に関与する主要な病原菌である。両者の性質の大きな違いの一つとしてデキストラン依存性凝集という現象がある。*S. mutans* はこの現象を示さないとされていたので、当初この現象は齲蝕病原性とは関係がないとされていた。しかし、*S. mutans* においても、条件により同凝集を示すことが分かり、これに関与する遺伝子として *gbpC* が同定されたので、その後この *gbpC* 遺伝子も病原因子とされるようになった。一方 *S. sobrinus* ではこれに関与する遺伝子は長らく同定されなかった。最近、本講座で同定した *S. macacae* におけるデキストラン依存性凝集に関与する *gbpC* 遺伝子を用いて調べると、*S. sobrinus* にも

gbpC に類似の遺伝子の存在が示唆されていた (柴山論文-第1回同窓会優秀賞受賞)。そこでこれに着目し、*S. macacae gbpC* 遺伝子を利用して、*S. sobrinus* における同遺伝子の検出を試みた。すると大きさの違う別のタンパク質をそれぞれコードする2つの類似遺伝子が見つかった。それらのタンパク質を大腸菌で発現させ、デキストラン結合活性を調べたところ、大きい方のタンパク質がデキストラン結合活性を持つことを明らかにし、その遺伝子を *dbl* (デキストラン結合レクチンの意) と命名した。一方の小さいタンパク質をコードする遺伝子は *S. macacae gbpC* 遺伝子と類似性が高かったが、デキストラン結合活性がないことを明らかにした。これらの解

析により *S. sobrinus* のデキストラン依存性凝集に *dbl* が関わっていると結論した。

本研究により *S. sobrinus* における表現形質であるデキストラン依存性凝集に関与する新規遺伝子が同定され、この遺伝子が齶蝕病原性にかかわっている可能性が高いことが示唆された。今後はどのような形で齶蝕病原性に関わっているのかを調べる必要があると思われる。

この研究を進めることで *S. mutans* と *S. sobrinus* において齶蝕病原性に関わる遺伝子が特定されれば、遺伝子レベルでの齶蝕予防を行うことが出来る可能性がある。

さらに口腔内細菌の同定を行い、個々に対応したカリエスワクチンを作成するなどによってよりクリティカルな齶蝕予防を行えるようになることも期待される。

理事会のうごき

第5回理事会

平成20年10月11日(土)午後2時30分～午後6時15分

於 特別会議室

出席 29名

議長 柳副会長

会長挨拶

事業運営がうまくいくよう私が大学とのパイプ役となって会務を執行していきたい。また評議員会に向かい慎重な協議を願いたい旨挨拶。

黙 禱

平成20年9月11日から本日までに逝去の連絡があった11名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

会務報告および承認

1) 平成20年9月11日から平成20年12月までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務部

① 支部長退任および退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について1件報告。

② 支部・地域支部連合会等学術講演会講師交通費の支出について2件報告。

(2) 会計部

平成21年度財政方針の骨子については協議事項で説明することを報告。

(3) 渉外部

渉外部委員会報告を説明。

(4) 学術部

① 学術部委員会報告を説明。

② 卒後研修セミナーについて報告。

(5) 広報部

広報部委員会報告を説明。

(6) 厚生部

① 平成20年度逝去会員は10月7日現在で累計116名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。

② 罹災災会員1名について報告。

(7) 保険部

保険部委員会報告を説明。

(8) 情報部

情報部委員会報告を説明。

3) 事務職員1名退職および2名雇用について報告。

4) 大学法人より、水道橋各会議室について本部同窓会で使用する場合は無料ただし事前に法人事務に連絡し許可を得て利用するよう案内があった。

5) 日本橋高島屋との法人契約について

各デパートとも、同窓会は法人でも個人でもないため、外商取引が原則できない。数社と交渉した結果、日本橋高島屋外商部で法人取引することが可能になったため、今後事務処理を単純明快にするためにも、取引を一本化することにした旨報告、了承。

6) 名簿編集委員会の設立について

個人情報保護法のもと連絡先記載の有無について事前調査が必要であることと、実際の編集作業は広報部委員会主導で行う旨報告、了承。

7) 平成21年は名簿作成年度にあたり、名簿積立金を取り崩すことを報告。

8) 会則等検討委員会からの答申について説明、了承。

9) 平成21年度評議員会日程について

大学行事の日程調整の必要上常任理事会で検討、総務一任となった。通例11月21日(土)であるが場所が取れず、11月28日(土)如水会館で行うことに決定した旨報告、了承。

10) 自然災害の被災にかかわる共済金規程について

罹災共済金の覚書について報告，了承。今後共済金が変わる予定であることから，同窓会員が理解できるような細部の内規を作成したい。

- 11) 平成21年度ゴルフ大会は9月10日の第2木曜日を予定したが，日齒代議員会と重なるため，9月17日(木)に決定した旨報告。

各地域選出理事報告

1) 戸田理事(北海道)

- ① 8月23日(土)北海道地域支部連合会総会を開催した旨報告。
② 大学への希望：会員からのざっくばらんな意見を聞いていただける窓口をつくってほしい。

2) 高橋理事(東京)

- ① 12月6日(土)東京地域支部連合会総会の開催予定を報告。
② i) 共済金支給について 当年度中，未納者については差し引く⇒前回常任理事会決定事項を改める
ii) 連合会理事選出について
iii) 水道橋移転に関する説明方法についての要望

3) 伊藤理事(東海)

- ① 9月7日(土)東海地域支部連合会総会を浜松市で開催した旨報告。

4) 小室理事(近畿)

- ① 11月23日(日)近畿地域支部連合会総会の開催予定を報告。

5) 安田理事(中国)

- ① 11月29日(土)に島根県支部総会の開催予定を報告。

6) 久保田理事(四国)

- ① 愛媛県中心でセミナー等学術関係事業が行われていることと，若い先生中心で色々予定を作っている旨を報告。

7) 濱田理事(九州)

- ① 10月18日(土)九州地域支部連合会総会を開催した旨報告。

8) 大学の報告

- ① 千葉校舎の移転理由の一つは，耐震建築基準を満たしていないことも含まれる。

協議事項

- 1) 同窓会会費および共済負担金納入延期願いについて1件承認。
- 2) 共済負担金納入延期願いについて1件承認。
- 3) 同窓会会費および共済負担金納入免除願いについて1件承認。
- 4) 推薦会員退会願いについて1件承認。
- 5) 平成21年同窓会事業計画について，資料に基づき説明，協議の結果了承。
- 6) 平成21年同窓会事業予算について，資料に基づき説明。協議の結果了承。
- 7) 同窓会共済規定の一部変更(案)について説明。協議の結果承認。
- 8) 平成20年同窓会評議員会の運営について説明。協議の結果了承。
- 9) 第3回東京歯科大学同窓会会長賞について大学より推薦された3名を報告。協議の結果，承認。
- 10) 今後同窓会の組織力強化のために学年代表者の協力を得ることが不可欠であることから，学年代表の組織作りを検討して行きたい旨説明。協議の結果，承認。
- 11) HP 会員掲示板の記載事項に対する対応について説明。
- 12) 本学同窓関連機関勤務者名簿の配布範囲と時期について説明。協議の結果，渉外部に一任を承認。
- 13) 北海道釧路支部長が今年逝去され，現在会員が1名となっているため今後の対応を協議した結果，近隣において代行できる方を地域から推薦していただき，本部から正式に依頼することを了承。
- 14) 「同窓会事業の検討委員会(仮称)」設立について，総務一任で進める旨を承認。
- 15) 東京歯科大学同窓会役員並びに職員旅費規程の一部変更については理事会決定事項である旨説明。協議の結果，承認。
- 16) 平成21年東京歯科大学同窓会事業予算において，総合政策費積立金会計の名称変更について説明，協議の結果，総合政策費積立金会計を時局対策費積立金会計に名称変更する旨を承認。
- 17) 同窓会平成21年度理事会・常任理事会開催日程(案)を配付説明。一部訂正了承。

「近未来の歯科医療に対応する知識と技術」企画にあたり

TDC 卒後研修セミナーではこの30年間、知識、技術、総合的視点にたったプログラムを考慮し、歯科医師生涯研修のためにセミナーを企画して参りました。歯科医師生涯研修の考え方としては、国民は歯科医学の進歩の恩恵を受ける権利があり、私たち歯科医師は、進歩した歯科医療を国民に提供する責務があります。そのために、歯科医師は生涯にわたり研鑽を積み、国民からさらなる信頼を得ることが必要ではないでしょうか。会員の先生方におかれましても、その臨床経験年数、大学卒業後の経歴、専門分野、診療スタイルに対応した形で研鑽を積み、臨床の基盤としていることと思えます。「東京歯科大学のOBは皆勉強熱心だ」という声を耳にすることは、我々の誇りであると感じております。

今回の年間テーマとして近未来（5年後、10年後）の歯科医療状況を予見するために、「必要な情報は何か」を考えてみました。患者さんの「良質な治療を受けたい」という思いは、年々強いものになってきています。私達が日常臨床でこれらのニーズに応えていくために必要な知識と技術には、基礎的なもの、先進的なもの両方があると思われます。

また、最近では卒前卒後における臨床教育環境の変化から、卒後キャリアの少ない先生方が技術的不安要素を抱えるケースも見られるように

なりました。

そこで2009年卒後研修セミナーでは、今後の歯科医療の変化に対応すべく情報を整理すると共に、日々の臨床に直結する臨床実技セミナー、基礎的な技術の向上を目的とした基本技術セミナーの2種類の実習付きセミナーを開催いたします。

臨床実技セミナーでは、好評を得ております「MTMセミナー」、昨年受講申し込みの多かった「メタルフリーセミナー」に加えて、最近重要視されてきました全身管理の基本、そして日常臨床の中でルーティンワークとなっている歯内療法を、よりシンプルに行う手技について取り上げてみました。「全身管理」では、本学麻酔科の協力を得て、モニタリング、鎮静法などを研修していただきます。「歯内療法セミナー」では、根管治療の基本テクニックとその勘所を紹介するとともに、実習では湾曲根への対応、テーパードプレパレーション、モノコーンテクニック、マイクロスコープを体験していただきます。

基本技術セミナーでは、お馴染みでありましたFopセミナーの基礎的な部分で構成した「フラップ手術の基本」～for beginners～、そして診査診断の基本として欠かせないツールであるX線写真を活用するための基本的手技に関するセミナーを開催します。「Fopセミナー」では、ブタ顎骨を使用して、フラップ

手術のイロハから実習いたします。

「X線セミナー」では何が見えるのか、何を診るのかという基本を再確認し、実習では実際に様々な撮影法を体得し、希望者には撮影実習をしていただきます。

このように、経験年数、臨床体験の違いに応じたプログラムを提供させていただくことで、多くの会員の先生方のニーズお応えできるものと考えております。また、フォーラムでは本年度のテーマに則り、近未来の歯科医療を考えるべく「国民にとって最良の歯科医療とは何か」を学識、歯科医師会、臨床家それぞれの立場から情報を提供していただき、皆さんでディスカッションする内容を企画しております。講師に大久保満男先生、石井拓男先生、中川勝洋先生をお招きし、情報を共有することで印象あるメッセージを残すことが出来ると考えております。卒後研修セミナー2009

[3つの基本構成]

・臨床実技セミナー

(先進的事項、応用できる範囲を広げるための項目を体得する)

・基本技術セミナー

(基本的な知識、技術の確認を目的とし、臨床のベースを強化する)

・卒研フォーラム

(近未来の歯科医療を科学する)
(2009年プログラム担当

牧野 寛)

本号の同窓会報に同封しましたプログラムをご覧の上、多くの先生方のお申し込みを学術部委員会一同心よりお待ちしております。なお、申し込み受付開始は、2009年1月7日からとなります。

卒研レポート2008

パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう ～設計の秘訣～

2008年10月26日(日)の上記卒業研修セミナーを取材してきましたのでご報告いたします。

今年度はベーシックセミナーとして義歯を取り上げ、「設計の秘訣」と題して講演を、実際の症例のパノラマレントゲンや口腔内写真を見ながらグループ分けされて義歯設計をディスカッションして、1日学びました。



企画主旨には「パーシャルデンチャーの構成要素である支台装置を中心に解説を加え、トータル的にはどのように一装置として扱い設計するのかを習得していただきます。力学的にはどのように咬合力を受け機能しているかを学ぶことで、欠損補綴処置を行う上で重要な要因が理解できるかと思えます。そして、欠損に対する見方を一口腔単位としてどう診て補綴処置に活かしたら良いか、難易度評価と設計実習後のグループディスカッションから、より臨床的な内容で伝えられるかと思えます。」

とありました。

企画主旨説明の後、早速2症例の設計実習が行われました。講演前のいきなりの設計実習に戸惑う受講生もいましたが、臨床経験が長い先生

は素早く書き上げ、若い先生方は時間が過ぎてもなかなか書き終わらない方も見受けられました。この自分の設計は、午後のグループディスカッションに発表することになっています。



午前の講演は「パーシャルデンチャーのための診察とクラスプの設計」「クラスプデンチャー設計の実際」「欠損歯列の読み方」とあらためて設計の基本を学ぶことが出来たと思います。この講演を踏まえて直感的難易度評価のテストが行われました。5ケースのパノラマ写真を30秒ずつ見て、それぞれ1～10までの難易度を即座に判断するというものでした。先の講演で習ったことをじっくり考える時間はありませんでしたが、初診で来院された患者さんの口腔内をざっと診て難易度をある程度判断できる練習になったかと思



います。

昼食を挟んで午後は難易度評価の解説がありました。自分が評価した難易度が合っているのか、間違っているのかは義歯を長期に渡って支台装置を含めて良好に保つ為の判断基準になります。難症例を易しいと判断した先生は、午前の講演をしっかりと理解しなおす必要があるようです。



続いてこのセミナーのメインである症例グループディスカッションに移りました。1グループ6～7人に分かれ、午前に行われた設計実習のパノラマ写真、口腔内写真を見ながらそれぞれ何故自分はこの設計にしたのか、今設計を変えたらどうのようにしたいか等、活発な討論が行われました。やはり、臨床経験の長い先生は咬合状態・補綴物・咬耗などからこの症例の経時的変化を的確に捉えていて、若い先生とは症例を診る目が違い、大変勉強になったと思いました。

技術的な実習はありませんでしたが、基本となる症例を診る目は経験ばかりではなく、よく考えて取り組めば見えてくるものもあると思えました。

(取材・広報部 福井雅之)

卒研レポート2008

患者さんの健康を支援する ～歯科医師のできること歯科衛生士にできること～

今回の卒研フォーラムでは様々なアプローチで患者さんの健康を支援している3名の先生方(右写真左から牧野 明先生, 高柳篤史先生, 北川原 健先生)にその取り組み方と医院に勤務されている歯科衛生士の方にも歯科医院での取り組みをご紹介します。

歯周治療とメンテナンス

牧野先生の講演からは診療に対する先生の熱意と自信を感じることができました。ルートプレーニングのポイントはブラッシング指導を行い歯肉が変化するとき(歯肉がカラカラになった時)に麻酔を行わず一回のアポイントで一歯を行うということでした。歯肉が変化するまで4か月もかかった患者さんもいらしたようですが、患者さんをほめ、スライドで目に訴え、「私の言う通りにすれば、絶対なおる」と患者さんを引っ張る力は尋常ではないようです。

畔川澄枝^{くろかわ}歯科衛生士からは「ルートプレーニングスキル」という題でWHOプローブを用いた歯石の触知感, ルートプレーニングの注意事項を発表されました。畔川さんのお話からは歯科衛生士としての責任とやりがいを持っていることを感じました。

保健指導から健康支援への

アプローチ

高柳先生は現役の同窓会学術部委員かつ日本口腔衛生学会理事の立場もあり健康支援の定義やデータを用いた客観的な話にもかかわらず、激しい手振りをまじえた講演は熱意のある熱い話となりました。これまでの術者目線である保健指導から患者目線, 生活者目線である健康支援と



いうアプローチについての考え方を述べられました。高柳歯科医院に勤務する真中美和子歯科衛生士「患者の主体的参加を促す歯磨きコミュニケーション」のお話では、ブラッシング指導では歯垢が残っていることを責めるように指摘するのではなく、ブラッシングのコツの説明や、歯ブラシの特徴などから興味を持ってもらうようにしているそうです。そして「少しでも患者さんが良くなってくれば」という気持ちで接しているやさしい歯科衛生士さんでした。

“変化”への対応

—長期症例は語る—

北川原 健先生のお話を聞かれた会員の方もたくさんいらっしゃると思います。有名な「0の会」の北川原先生です。見事な長期症例そして長い患者さんとのお付き合いの歴史の話でもあります。積み重なったスライドと模型を前に患者さんのお母さんに「この医院には家にはないこの子の歴史がある。」と言わせるほどの充実した症例から健康支援を具現できた具体例のお話をされました。

岡本めぐみ歯科衛生士からは北川原歯科医院のシステムの中で歯科衛生士の役割についての話がありました。このシステムの考え方に皆様の参考になることがありました。



おわりに

講演会では健康支援に直接は関係ない話の中にも役に立つ話がたくさんありました。「歯牙の自然移動」, 「残存歯数23歯で歯牙喪失の変曲点がある」, 「歯周治療によるX線写真の変化」, 「セメント質種の症例」, 「中心結節の処置」等です。興味深く刺激を受ける内容が盛りだくさんでした。

ところで健康支援への取り組みは一つの答えがあるわけでも、上から決定できるものでもないようです。むしろいろいろな先生が取り組んでいく実践という底辺から作り上げていくものでしょう。「同じフォーマットで同じ現象を集めていく、それがこれからの若い人の使命」といった北川原先生の言葉もこの事を言われたのではと思っています。

来年の卒後研修セミナーも今年以上の会員の皆様のご参加よろしくお願ひ申し上げます。

(取材・広報部 三友和夫)

母校の今

スポーツ歯学研究室

東京歯科大学スポーツ歯学研究室
教授 石上 恵一



研究室の歴史

近年、スポーツに対する国民の関心は高まりをみせており、スポーツに参加する年齢層は大きく拡大してきている。そして、若年者から高齢者に至るまで、それぞれが興味に応じて種々のスポーツに参加するようになってきた。こうした状況に相応して、スポーツ中の事故や障害は増加傾向にあり、スポーツ障害に対する専門的な対応と対策が求められている。さらに、競技向上におけるスポーツパフォーマンスと顎口腔系の状態との関連が注目されている。このような中1998年10月、世界で初めてスポーツ歯学の本格的な研究と臨床の場として本学水道橋病院にDEPARTMENTとして我がスポーツ歯学研究室が開設された。2002年4月にはスポーツ歯学研究室のさらなる組織の充実を図る為、その活動中心の場として水道橋病院から千葉校舎に研究室が移転された。さらに千葉病院においても特色ある

病院として水道橋病院と同様スポーツ歯科外来の標示化が行われ、一般歯科診療の他、プロ・アマ一流選手を始め千葉県内のスポーツ選手や一般スポーツ愛好家などに対し臨床を提供してきており、徐々にその存在が認知されて来ている。しかし、残念な事に現在水道橋病院においてはスポーツ歯科外来の標示はなく、選手の要望で千葉病院から水道橋病院に赴いて総合歯科の中で対応させてもらっているが、選手の中には都心での対応を希望する者も少なくなく専門外来としてでもその標示化は希望したいところである。

人員構成

現在、我が研究室の人員構成は、教授1名、准教授1名、講師1名、レジデント1名、大学院生8名、専攻生1名、臨床専門専修科生2名、一般専修科生2名、非常勤講師14名である(図1)。

教育に関して

日本スポーツ歯科医学会教育普及委員会のアンケート調査では、23の歯学部と6の歯科大学におけるスポーツ歯学に関する学生への講義・実習に対し講義は13校、実習は5校で行なわれ、両方行なっているとしたところは5校であった。尚、臨床では、病院内でのスポーツ歯科関連の標示がされているのは、15の附属病院であり徐々にその必要性が認知

されはじめているようである。さらに先の歯科大学長・歯学部長会議の教授要綱改訂においてもスポーツ歯学分野が初めて取り上げられ、各大学で統一したスポーツ歯学の教育が行なわれようとしている。その中で、衛生士校の2コマをはじめとして学部一年生の講義(人間生物学)1コマと4年生での講義・実習コマ数15コマをもって充実した教育がされている我が校は、その中心的存在にある。

尚、他機関からの依頼で年数回、少しでも正しいマウスガードが提供して頂けるようにとマウスガード実習セミナーも実地している。

研究に関して

現在我が研究室では、顎口腔系の状態と全身状態との関連に関する研究をメインテーマとして、これまで国内外で活動してきている。近年、厚労省はじめ他の分野でも口腔と全身との関係をテーマとした研究が見られるようになってきたが、我々は1987年にすでにこの研究テーマを立ち上げその基で、いろいろな角度からその関連について検討し報告してきた。特に、最近では全身運動機能・スポーツパフォーマンスへの影響との関係を電気生理学的、運動力学的視点から検討を行いその結果をフィールドにフィードバック出来るよう実践的活動を視野に入れた研究活動している。また、スポーツ外傷予防としてのマウスガードの有効性等について、武田友孝准教授が精力的にそのエビデンスを求め幾つかの研究成果をDENTAL TRAUMATOLOGYに数編投稿し国際的にも高い評価を得ている。その他、歯、歯槽骨、顎骨への障害に関するもの、マウスガードに関するもの、さらに身体(運動)活動との関係等に



図1 医局員の集合写真

については、日本スポーツ歯科医学会や日本臨床スポーツ医学会、体力医学会の他、関連学会等で学術活動を行なっている。特に、日本スポーツ歯科医学会では昨年大学院生であった渋澤真美君が学会賞を頂いており、本年の学会においても大学院生の三島 功君が“モーグルおよびアルペンスキーのスポーツ特性と顎口腔系との関連”テーマで、さらに臨床専門専修科生の大野浩之君が“ウェイトリフティング競技と顎口腔系の状態との関連”テーマで二人とも学会賞が決定されている。内容としては、2題とも運動競技中の咬合接触、噛みしめの状態、発現するタイミング等を把握する事を目的にしたものである。さらに、スポーツ選手が特に緊張が高まるような大会前、ストレスとして脳機能にどう影響を及ぼすのか、そのストレスを顎口腔領域の対応から緩和することが出来るのかを目的として、まずその基礎的研究を昨年渋澤真美君が“Functional near-infrared spectroscopy study on primary motor and sensory cortex response to clenching”と題した研究テーマで大学院4年次に学位を頂いた。尚、本研究論文はNeuroscience Lettersに既に受理されている。現在、この研究は後輩が継続して研究を進めている。我々の研究成果は、論文の為の研究でなくあくまでも臨床で実践されるようフィードバックできるものではない事を motto に医局員一丸となって研究に取



図2 千葉ロッテマリーンズ選手の歯科検診

り組んでいる。

診療に関して

千葉病院では、スポーツ歯科外来において一般歯科診療の他、スポーツ選手では特にコンタクトスポーツ選手への歯科診療が多くマウスガードの提供を含め行なわれているが、一般スポーツ愛好家にも希望があればカウンセリングを含め同様な対応をしている。また、本校が千葉マリーンスタジアムに近い事から数年前よりシーズンオフになると千葉ロッテマリーンズ選手全員の体力測定を含めたメディカルチェック時に歯科検診（咬合力・握力等簡単な測定を含め）をチーム契約下で行っている（図2）。検診結果は、後に広報事務局に報告し選手に伝わるようになっていいる。選手が治療およびカウンセリングを希望する場合は、連絡が入り千葉病院か水道橋病院で我々が対応するようになっていいる。さらに、ラグビーのトップリーグ・クボタヤリコーともチーム契約を結んでおり医局員らが合宿所に赴き印象採得からマウスガードの提供まで行っている。その他にも地元市立船橋高校のサッカー部等、同様な対応を行っているチームが幾つかある。また、私が日本スケート連盟から日本オリンピック委員会強化スタッフとしてスポーツドクターを委嘱されているところから年数回国立スポーツ科学センターに赴きスピードスケート、フィギアスケート、ショートトラックのオリンピック強化選手の歯科検診を行い必要ならば、やは



図3 2008年 FIS フリースタイルワールドチャンピオンシップ

り千葉病院か水道橋病院で歯科治療・カウンセリング等の対応を行っている。水道橋病院では協栄ボクシングジムの要望でチャンピオンクラスの手ををはじめとし協栄ジムの選手のサポートを依頼されておりその対応も行っている。最近では、日本スキー連盟からの依頼もありモーグルやアルペンスキーのオリンピック強化選手に対し白馬などの合宿所に赴き、これまで我々の研究で得られた情報を選手にフィードバックするため、印象採得からオーラル・アププライアンスの提供を含め活動している。手間と時間・労力を考えると病院に還元できる料金としては割に合わない所があるが、日本スポーツ界に貢献しているという実感はある。実際、我々がサポート始めてから日本一になったりメダルをとったり世界チャンピオンになったりしているチームや選手も出ている。モーグルでは、ワールドチャンピオンになった女子選手もいる（図3）。

おわりに

スポーツ歯学研究室では、JASD 認定マウスガード研修施設、日本補綴歯科学会認定研修機関、日本顎関節学会認定研修機関、日本全身咬合認定研修機関として、それぞれ認定医・専門医を有し中島一憲（講師）医局長が中心となって医局員への臨床教育指導を行っている。上述したように各大学においてもこのスポーツ歯学という分野の展開を注目しているようであり、今後益々スポーツ歯学に関する学生教育をはじめ臨床、研究活動が重要であり、世界的にもこのスポーツ歯学の学問的体系化が必要となる。スポーツ歯学が世界で認知されるような活動こそ我々の責務と考える。最後にこのスポーツ歯学にご興味をもたれ一度話を聞いてみたいという同窓の先生方がおられましたなら、ご遠慮なくご一報頂けたら幸いです。

第40回歯学体開催

総合成績第3位 昨年を上回り上位をキープ

第40回全日本歯科学学生総合体育大会は、7月28日(月)から8月12日(火)までの16日間、岩手医科大学歯学部の事務主管により岩手県を中心に熱戦を繰り広げた。また、冬期部門には、本学は唯一スキー部門にエントリーしており、3月12日(木)

から16日(日)までの5日間の日程で、北海道歌志内市の「かもい岳スキー場」で行われた競技に挑んだ。

今大会も昨年同様、本学は夏・冬併せて19部門に出場し、延べ383名の学生が日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、チーム一丸となって各部門

競技に参戦した。

入賞部門は、冬期部門のスキー部優勝を皮切りに、夏期部門では、硬式庭球部、陸上競技部が優勝、ヨット部が準優勝、硬式野球部、軟式庭球部が3位、バドミントン部が4位という成績を収めたほか、下記のクラブがデンタルポイントを獲得するとともに、個人戦においても多くの優勝をもち取り、総合第3位という好成績を収めた。

総合成績

順位	大学名	得点
優勝	愛知学院大学歯学部	170.50
準優勝	日本大学歯学部	148.25
3位	東京歯科大学	132.00
4位	日本大学松戸歯学部	128.50
5位	大阪歯科大学	108.85

入賞部門

部門名	順位	Point
スキー部門	優勝	21.0
硬式庭球部門	優勝	20.0
陸上競技部門	優勝	20.0
ヨット部門	準優勝	11.0
バドミントン部門	4位	11.0
硬式野球部門	3位	10.0
軟式庭球部門	3位	10.0
バレーボール部門	5位	8.0
剣道部門	5位	7.0
水泳部門	5位	7.0
弓道部門	7位	5.0
ボウリング部門	6位	2.0

※ポイント獲得順で記載

各個人成績 優勝者

部門名	種目名	学生氏名(学年)
軟式庭球部門	女子個人戦ダブルス	池田 朋子(3年)・大山 陽子(3年)組
陸上競技部門	男子 4×100mリレー	浅井 雅敏(3年)・河合 章太(2年) 木村 翔馬(2年)・長嶺 優樹(2年)組
	男子 4×100mリレー	増田 隆雄(5年)・浅井 雅敏(3年) 河合 章太(2年)・木村 翔馬(2年)組
〃	男子100mハードル	増田 隆雄(5年)
〃	女子100mハードル	山崎 晴香(5年)
〃	女子400m	多田 恵子(3年)
〃	女子800m	多田 恵子(3年)
〃	女子3000m	多田 恵子(3年)
〃	女子槍投げ	松本 亜弓(3年)

団体部門入賞成績

部門名	順位
硬式庭球部門男子団体	優勝
硬式庭球部門女子団体	優勝
軟式庭球部門女子団体	優勝
剣道部門女子団体	優勝
バドミントン部門男子団体	準優勝
弓道部門女子団体	3位
剣道部門男子団体	5位
水泳部門男子団体	6位

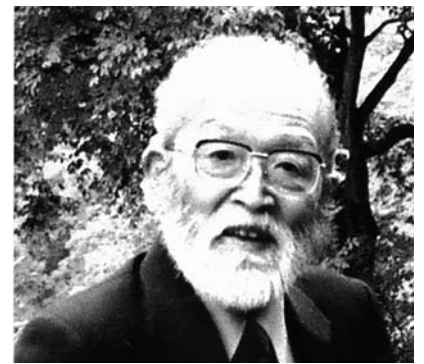


同窓会員より資料等が大学へ寄贈

写真の寄贈を受ける

平成20年8月、群馬県高崎市在住の正木光児先生（五十一期会，昭和20年9月卒）から古い山岳部の写真2枚（原版はガラス乾板）をご寄贈いただいた。昭和4年12月3日に東京歯科医専山岳部発会式が第一示説室で行われた。写真はその当時のもので，中央が福島秀策先生，右側の頬杖をついているのが河邊清治先生

のようである。大変貴重な写真であり，大切に保管したい。



血脇守之助先生揮毫の掛軸の寄贈を受ける

平成20年8月，千代田区神田神保町で開業されている春原 肇先生（八紫会，昭和35年卒）から血脇先生揮毫の扁額二幅「文質彬彬」「楽々荘」，および掛軸一幅をご寄贈いただいた。これは血脇先生がご尊

父の春原定栄先生（大正7年卒）のために書かれたものであるが，雅号がそれぞれ違っている。血脇先生は天籟（血天籟）の雅号を自らつけておられた。後には半仙・血半仙（半分は仙人に近づいた意）と号された。貴重な史料であり大切に保管し，後世に伝えたい。



血脇守之助先生揮毫の掛軸ほかの寄贈を受ける

平成20年5月，同窓会副会長の神谷龍司先生（富巳会，昭和40年卒，愛知県刈谷市で開業）から血脇先生の書，掛軸一幅「天衣無縫」および佐藤運雄先生の書「恭黙思道」をご寄贈いただいた。これらは，神谷先生の恩師でもある黒須一夫博

士（昭和28年東歯卒 東京医科歯科大学講師，愛知学院大学教授，日本小児歯科学会会長，平成8年8月19日ご逝去）が所有していたもので，後に奥様のアイ子先生（東洋女子歯科医専卒）から頂いた思い出深いものである。史料室で大切に保管し，広く閲覧に供していきたい。



卒業アルバムの寄贈を受ける

平成20年6月，愛知県で開業されていた小林倉吉先生（珊瑚会，昭和5年卒，平成18年5月1日ご逝去）の卒業アルバムをご寄贈いただいた。大学の歴史を調べる際にも有用であり，大切に保管したい。

ご子息《長男・崇志（故人・昭和35年卒），次男・博（昭和40年卒）

三男・伯男（昭和40年卒）四男・朗男（昭和50年卒）五男・利行（松本歯大卒）の五人の先生ご相談の上で，大学での資料として保存頂きたいとのことであった。

古い年度のアルバムは未収集のものが多く，今後とも同窓の皆様のご協力をお願いいたします。



支部のうごき

関東地域支部連合会

平成20年度

関東地域支部連合会総会

爽やかな秋晴れに恵まれた9月6日(土)、宇都宮グランドホテルにおいて関東地域支部連合会の総会が開催されました。昨年の茨城県から引き継ぎ、今年が栃木県が当番県となりました。総会は柳川敏夫常任幹事の司会の下、菊地善郎副支部長の開会の辞に始まり、関谷和夫支部長の挨拶では、栃木県の名産や見どころを他県からお越しの先生方に紹介されました。来賓には大山萬夫同窓会会長、金子 譲学長をお招きし、それぞれ祝辞をいただきました。また金子学長には大学の現況に加え、2010年に大学の120周年を迎えるにあたり、「継承と発展」というテーマで、これまでの母校の変遷ならば

に将来の発展に向け求められる大学の変革についてお話しくださいました。

続いて関谷支部長を議長に選出し議事に入りましたが、各種報告、各議案とも滞りなく承認されました。協議事項では、事前に各県より提出された議題について喧々諤々と議論が交わされ、時間が足りず継続協議となった議題もありました。そして、次期当番県である群馬県支部長の武安一嘉先生の挨拶があり、天沼隆副支部長の閉会の言葉で総会を終了いたしました。

記念講演は三森 修常任幹事の司会の下、(株)ドクターネット代表取締役の佐藤俊彦先生に「医療費抑制政策と予防医療～メディカルクラブ5年間の実績とドクターネットのメ

ディカルクラブ戦略～」という演題でご講演をいただきました。PET-CTを用いて機能画像と形態画像を融合することにより、5mm程度の癌の発見を可能とする最新画像診断のことや、世界中の専門医が診断する遠隔画像診断システムについてもご講演いただきました。

懇親会は坂入道子常任幹事の司会の下、来賓の栃木県歯科医師会会長代行である大久保雅順先生にご挨拶をいただき、井原信一同窓会理事の乾杯の発声で幕を開けました。歓談中は「井上綾子カルテット」のジャズの流れるゆったりした中、和やかに懇談いたしました。最後に平成ゴスペロール隊(平成卒業者)を中心に校歌斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。

(栃木県支部 斎藤哲一 記)

東京地域城北ブロック

9月27日北区王子駅前の「北とぴあ」において北支部の当番で城北地域の滝野川、荒川、練馬、板橋、豊島、北の6支部から約50名の同窓が集まり総会が開催されました。

来賓として服部会長にお越しいただきました。この地域には恵まれたことに4つの医療連携都立病院口腔外科(老人医療センター、豊島、大塚、駒込)と帝京大学に口腔外科があり日ごろお世話になっています。そこでそれぞれの病院から先生をご招待し労をねぎらいました。これらの病院口腔外科の責任者は全て東京歯科大学の出身でこの地区開業の他

校の先生にうらやましがられています。

ご出席の連携病院の先生方に、各口腔外科の特徴を述べてもらい、一例として紹介患者を即日抜歯するか

しないか、持参したレントゲンを使用するか再撮影するか、また、紹介状にはできるだけ患者の既往を書いてほしいなど要望もあり紹介するときの参考になりました。総会は親睦を主体にした会なので協議事項等の発言はなく無事終了しました。



総会終了後、同会場で、昭和42年卒業の北歯科医師会会長高橋利武先生の乾杯の発声で懇親会に移りました。各テーブルは支部別でなく卒

業年度順に着席し、口腔外科の先生も加わり楽しく飲み交わしました。帰りには、王子名物の「扇屋の卵焼き」をお土産に2時間の会は無事終

了しました。なお、次回開催当番は滝野川支部にお願いいたしました。
(根岸康雄 記)

神奈川県支部連合会

8月3日(日)、本年度の会員・家族レクリエーションが行われた。今回は「東京の下町・江戸情緒を味わおう」という趣旨で、両国の江戸東京博物館から葛飾・柴又を巡る日帰りバス旅行を企画した。

午前8時30分に横浜を出発したバスは川崎を経由し、総勢42名の参加者を乗せて一路両国へ。日曜日の午前中ということもあり、首都高はガラガラで江戸東京博物館の開館時間前に無事到着。開館と同時に入場できたため、こちらも空いている中を着物姿のボランティア女性案内員の後についてゾロゾロと見学。遠い江戸の時代から明治、大正、そして懐

かしさを感じる昭和の東京への移り変わりを皆興味津々で見回った。

その後バスは葛飾・柴又へ。まずは、「ゑびす家」にて夏の活力源「鰻」を食し一同満腹。元気になったところで、炎天下の柴又帝釈天参道へと散策に出発。境内での写真撮影後一旦解散し、暑さにたまらずかき氷に涼を求めるものあり、草だんごを頬張るものあり、帝釈天、寅さん記念館、山本亭、矢切の渡しと思い思いの時間を楽しんだ。ちょうど前日が、寅さんを演じた渥美清さんの13回忌ということで、寅さん記念館の中庭には献花場が設けられており、記帳をして寅さんのご冥福を

皆でお祈りした。

バスは帰途へ向かうのだが、まだ陽も高いのでで予定にないサプライズへ。江戸から昭和へとタイムスリップした感のあるルートの最終目的地は平成の最先端・赤坂サカス。TBSのアンテナショップやブランドショップの立ち並ぶ活気あふれる都会の姿をおのぼりさん気分味わいながら、本日最後の乾杯を楽しんだ。

400年位を一気に駆け抜けた楽しい日帰り旅行であった。バスは川崎を経由して横浜駅まで運行し、その後解散となった。

最後に、大変暑い中をご参加いただきました皆様に心から感謝いたします。
(厚生・川越元久 記)



長野県連合会

平成20年9月6日・7日、平成20年度東京歯科大学同窓会長野県連合会総会が長野県下40余名の同窓が集い戸倉上山田温泉・笹屋ホテルで開催されました。

水橋 巖連合会会長の挨拶の後、大学から柳澤大学院研究科長の来賓挨拶・会務会計報告等議事が滞りなく進められました。

総会後の記念講演では、長野赤十字病院歯科口腔外科副部長・清水武先生による「安心・安全なインプラント治療」と題して行われました。インプラント治療は、高額な自費治療であり、患者の要望も高いため、一歩間違えると訴訟等のトラブルに発展するリスクが十分にあると

し、他院による「インプラント体上顎洞迷入例」「下顎神経損傷例」などを交えて、さまざまな危険性についてご教示いただきました。現在、インプラント治療の最初のステップである診断は、歯科用CTの開発により以前に比べその精度は格段に向上したとし、CTによって得られた三次元データを有効に治療計画に結びつけるインプラント埋入シミュレーションソフトの普及により治療のリスクも大幅に軽減することが可能になったとのことでした。

診断・治療のリスクは減ったものの、依然として「説明と同意」の部分で誤解を生じトラブルになっているケースもあるとし、より厳密な治

療上の利点・欠点・危険性をよく説明した上で同意のもと処置を進めていただきたいと報告されました。

記念講演終了後、全体記念写真を撮り、懇親会が始まるまでのしばらくの間各々温泉を楽しまれたり、各部屋で休息をとり、定刻より懇親会を始め、講師の清水先生・大学院研究科長の柳澤先生を交え最高潮に盛り上がりました。

当会恒例となった「長野県連合会常任指揮者」小池平一郎先生のタクトによる校歌斉唱で最高潮に達し、懇親会を閉じました。

翌日、川中島カントリークラブで行われた親善ゴルフコンペでは、好天に恵まれ数々の好プレイが続出しました。

(小林信之 記)



横浜鶴見支部

会員・家族レク開催

8月30日(土)午後6時より、イタリア料理「ラ・カッシーナ」において家族を含め20名参加のもと、鶴見東歯会会員・家族・レクリエーショ

ンが賑やかに開催された。

「ラ・カッシーナ」とはイタリア語で「小さな家」という意味だそうです。今回はその小さな家を貸し切って、さらに呑み放題という企画を立

てた。

まず、はじめに中城基雄会長の挨拶の後、テーブルに冷たい生ビールが運ばれ、酒井眞一先生の乾杯の発声で会が始まった。

分厚く切られたワラサのカルパッチョから紫蘇とベーコンのピザ、小

海老のクリームパスタなどシェフが旬の食材を使って腕を振った料理はどれも絶品で、ビールの後は白ワインとお酒も会話も進み大いに盛り上がった。

メインの豚肉のフィレステーキを赤ワインで楽しみ始めた頃、恒例の会員近況報告が行なわれ、自己紹介を兼ねて全員が近況を語った。また、今回残念ながら不参加の会員近況メッセージを鶴見東歯会で最もいい声の窪田 顕先生が、ものまねを交えて披露し一同大爆笑。まるで会員全員が参加しているかのようであった。

デザートはシェフご自慢のケーキとフルーツをコーヒーとともに。甘いものは別腹とぺろっと平らげ、ふと時計を見るともう9時。2時間貸

し切りの予定が、美味しい料理とお酒、楽しい談笑に時が経つのも忘れ、あっという間の3時間であった。

最後に、佐藤秀夫先生の閉会の辞によりお開きとなった。

猛暑だった今夏。美味しいイタリアンと皆の笑顔に、夏バテも吹っ飛ばす8月最後の土曜の夜となった。

(宇佐美貴弘 記)



10月号掲載分として投稿されましたが、手違いにより掲載が遅れました。お詫びして今号に掲載いたします。



9月14日(日)から連休を利用して1泊で鬼怒川方面に出掛けた。

午前10時。東武浅草駅のホームを参加者12名を乗せた特急スペーシア号出発と同時にビールで乾杯。列車の心地よい揺れも手伝ってほろ酔い。

正午。鬼怒川温泉駅着。日光竹久夢二美術館に併設の「花むらさき」で昼食。中城基雄会長の挨拶の後、昼間の大宴会がスタート。日光名物ゆば懐石をつまみに、ビールに焼酎、ウイスキーと大いに盛り上がった。食後は、大正ロマンを感じさせる竹久夢二の作品をじっくり鑑賞した。

その後、宿泊先の鬼怒川温泉「若竹の庄」へ。早速、浴衣に着替えて温泉につかりさっぱりした。風呂上がりの冷たいビールがまた格別。

午後6時半より、旅館内宴会場において、今月めでたく還暦を迎える佐藤秀夫先生のお祝い会が開催された。鈴木 裕先生の乾杯の発声と同時にコンパニオンも加わり祝宴が始

まった。還暦祝いの赤いベストが贈られ、大きな拍手で祝福した。料理はどれも絶品で先付の秋茄子利久寄せからデザートまで季節感あふれるものばかり。お酒も益々進み、先生の還暦を祝し皆、赤ら顔。翌朝の胃もたれなど全く気にせず、部屋に戻って2次会。夜食のおにぎりを頬

張り、ビールに焼酎。今宵ばかりは臨床を忘れて秋の夜長を遅くまで楽しんだ。

翌朝は清流のせせらぎと鳥のさえずりを聴きながら朝寝、朝酒、朝湯。たっぷり英気を養った。

午前10時。龍王峡を散策。予想以上の強行軍にすぐに引き返し、近く



の食堂で、まずはビールにカレーライスとソフトクリームを頂く。

続いて鬼怒川ライン下りへ。船頭さんの楽しい話術に大笑いしながらさわやかな川風と水しぶきを浴び、鬼怒川の自然を満喫した。

お昼過ぎ、お腹も空いて、「鬼怒川金谷ホテル」でホテル特製ビーフ

シチューと料理長おすすめハンバーグのどちらかを選ぶ。もちろんワインとビールを次々と注文。

列車の到着まで座敷でのんびりしようとして駅前の食堂で小休憩。ここでもラーメン、あんみつを食べながら、今回の楽しかった旅を振り返った。

帰りの車内では、旅の疲れも出て爆睡。いびきの合唱が響いていた。

よく呑み、よく食べ、よく笑った鬼怒川旅行。最年長84歳から最年少36歳までの会員が分け隔てなく酒を酌み交わし、親睦を深めることが出来、とても有意義な旅となった。

(宇佐美貴弘 記)

愛知県支部

平成20年度学術講演会

7月13日(日)午後1時より、平成20年度愛知県同窓会学術講演会が、愛知県歯科医師会館にて開催されました。講師には、本校の歯周病学講座を経て、平成14年より慶応義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室の教授に就任され、ご活躍中の中川種昭先生をお招きし、「歯周治療にとって大切なもの～リスクファクター・SRP・FOP～」と題して講演していただきました。蒸し暑い日にもかかわらず、他大学の先生や歯科衛生士さんも大勢参加していただき、会場はほぼ満席となる盛況ぶりでした。

リスクファクターに関しては、歯周病学講座に在籍当時、細菌学を専門に研究されていたこともあり、歯周病原因菌について大変詳しく、また喫煙、糖尿病、肥満と歯周病との関連性をアンチエイジングと絡めてわかりやすく説明していただきました。SRPに関しては、スケーラーの選び方、ポジション、ストロークの仕方など基本的なことからその応用法までを教えていただき、歯科衛生士の皆さんには特に大変参考になったことと思われまふ。FOPに関しては、さまざまな症例を通して、歯周外科がなぜ必要なのか、いつ行うのか、どのように歯周治療の

中で生かしていけばよいかなど、良質なかかりつけ歯科医を目指す臨床医にとって重要な事柄をお話していただきました。時折、話が乗ってくると出身の関西弁が顔を出し、司会の前岡先生曰く「もちろんいい意味ですが、まことに教授らしからぬ軽妙な語り口で、聴衆を飽きさせない楽しい講演でした。」

講演の後、質疑応答もその流れで大変活発に行われ、色々なジャンルの質問が提示されました。それに対する回答も、歯周病菌に関するものに関しては、ご自分の研究の実績も披露しながら語気強く、またやや専門外と思われるものに対しては、博学ぶりを発揮されながら、不確実な

点は大変謙虚にお答えいただき、教

授の人柄がうかがえとても好感が持てました。

学術講演会終了後、会場を「アパホテル名古屋錦」に移し、講師を囲んでの懇親会が開催されました。ここでも出席された先生方の質問などに真摯に応じていただき、本当に休む間もなく、お疲れになったことと思われまふが、参加した我々にとって、大変有意義な一日となりました。本当にありがとうございました。

写真は左から、同窓会学術担当常任理事 橋本雅範先生、専務理事 成瀬 健先生、講師中川種昭先生、副会長 山田有先生、学術担当理事 小出直弘先生、同理事 前岡一夫先生、同理事 波多野耕治先生です。

(竹内英樹 記)



小江戸川越にでかけてみませんか

埼玉 県

私のふるさとは、埼玉のほぼ中央に位置する川越市です。川越は、古くからこの地方の文化の中心として栄え、室町時代に太田道真、道灌親子により川越城が築かれました。親子は江戸城の築城も手がけ、川越の文化を持ち込んだことより「江戸の母」とよばれたそうです。徳川家康が幕府を開くと、北方の守りとして重臣が入府し、江戸期をとおして8家21人が城主となり、大老が2人老中が7人もいることから川越藩が重要視されたことが、うかがえます。1638年の大火の後、松平伊豆守が城主となり、城の拡張や城下の整備と礎を作った。このころより新河岸川の舟運で江戸との交流も活性化し、商業も繁栄し、江戸文化の影響も受けて、今度は「小江戸」と呼ばれる発展を遂げた。豊富な文化財と蔵造りの商家が軒を連ねる小江戸川越に、大江戸の残像を求めて散策に出かけてみませんか？

上杉、北条、徳川と続いた川越城も維新後に次第に解体され、今は本丸御殿を残すのみですが、17万石の大名の格式と偉容を今に伝えています。

近くの三芳野神社は、童謡「とうりゃんせ」発祥の地で有名です。



川越大師の喜多院は、平安時代に創建の天台宗の名刹で、徳川家と縁も深い寺です。江戸城から移築された「家光誕生の間」「春日局化粧の間」など重要文化財を見ることができます。境内に在る「五百羅漢」も必見です。



土蔵造りの並ぶ一番街商店街を中心とした町並みは、「国の重要伝統的建造物群保護区」「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されています。



街並みの中央部にそびえるのが「時の鐘」で環境省の「残したい日本の風景100選」に選ばれています。それから昔懐かしい駄菓子屋、飴屋が石畳の左右に21軒ひしめて並ぶ「かおりの風景100選」の駄菓子屋横町は、外せないスポットです。

関東三大祭りの一つ「川越祭」は、川越氷川神社の祭の山車行事として国の「重要無形民俗文化財」に指定



され百万人もの観光客が訪れる一大イベントです。

2009年3月31日(月)より川越を舞台にしたNHK連続テレビ小説「つばさ」が放送開始予定です。小江戸川越全国から注目が集まりそうです。皆様ぜひ一度川越にお越しください。



観光案内(アクセス、グルメなど)は市の観光案内所 (Tel049-222-5556)へお尋ねください。

(昭和50年卒 粟生田友三 記)

クラス会だより

嶺 驥 会

昭和30年卒

来春 嶺驥会開催 多数の参加を期待

我々の嶺驥会は、10年に1回総会を開く、めずらしい会であると思っている。平成17年4月に50周年記念祝賀会を開催した。その時、会計を預かっていた私は病気の間屋で、当日も顔面麻痺というおみぐるしい状態で皆さんとお会いした。何時どんなことがあってもおかしくない私は、一人で会計を引き受けていくことに不安を感じ、松村君と一緒に会計を担当させてもらうことを承認してもらった。

しかし最近、銀行の制度が厳しくなり、簡単に会計を引き継ぐことが難しくなった。そこで世話人である石井、佐藤、足代、倉橋、椎名、松村、町田の7人で相談した結果、共済金は皆さんに分配することが最良の策ではないかという結論に達した。

50周年記念には出席して下さった山本又雄先生も亡くなり、我々の面倒をみて下さったクラス主任の先生方は今は皆さんこの世にはいらっしやらない。我々も年をとり平均寿

命に近づいてきた。

慣例に従って次の会を60周年に開催するのでは遅いのではないかということになった。そこで急遽来年4月12日に水道橋病院の見える東京ドームホテルで嶺驥会を開催することとした。その際の会費は共済金の一部を当て、残りは通信費を少し残し、皆さんに分配させていただこうと思っている。

ご同伴で多数の皆さんが参加されることをお待ちしております。

(町田幸夫 記)

一口メモ

極私的旭山動物園案内

最近の新聞紙上で北海道ツアーの広告を見ると、よく「旭山動物園」がコースに含まれています。閉園寸前の最北の動物園が、動物本来の行動や能力を最大限引き出して見せる行動展示という卓抜なアイデアと地道な努力で、ついには年間入場者数で上野動物園を抜き全国トップとなりました。マスコミにも取り上げられ、2月には旭山動物園物語～ペンギンが空をとぶ～という映画が公開されます。子供のみならず大人も思わず引き込まれる、動物たちの思いがけないしぐさはきっと心を癒してくれます。

旭山動物園は旭川市郊外の山の中腹にあります。北海道外からは旭川空港が便利でしょう。東京、大阪、名古屋から直行便があります。空港からは約20～30分ほどで到着します。入場口は正門、西門、東門の3か所がありますが、入場するには裏門である東門がお勧めです。無料駐車場が広く、また坂を下りながら見学できるので楽です。最も混雑するのは午前中ですので、午後の入園も賢い方法です。雨の日は、屋外施設の一部で動物展示は行われませんが入場者数は若干減るので選択肢の一つでしょう。

園の最高地点である東門から入場すると、坂を下

りながらクモザル・カピバラ館→さる山→ほっきょくぐま館→あざらし館→正門→ペンギン館→もうじゅう館→小獣舎→オオカミの森→エゾシカ舎→オランウータン舎と反時計回りに回るのがよいでしょう。山腹を上り下りしなければならないので大変ですが、無料で園内を走るシルバーシャトルバスを利用することも可能です。

ほっきょくぐま館で最も興味を惹くのは水中でのくまの行動でしょう。漁業で使う船浮きで遊ぶくまは活発で何度も沈めようとします。あざらし館の目玉は円筒状の水の通路で、頻繁にあざらしが間近を回転しながら上下に移動していく様はかわいいものです。オランウータン舎の見ものは地上18mの2本の柱の間の綱を渡る空中散歩です。最近オープンしたオオカミの棲む森は、観客がそっと訪問するというコンセプトの元に建設され、とたりにはエゾシカも飼育して野性を刺激し、100年前の北海道をイメージした施設です。

冬季にはペンギンの散歩なども見られるなど、さまざまな工夫がされている旭山動物園に皆さんもお出かけになりませんか。

六 喜 会

昭和33年卒

前回の熱海での会から5年ぶり、今回は卒後50周年記念総会として、9月18日東京プリンスホテルで開催されました。

総会は岩松君の司会で進められ、井上君の開会挨拶に続いてこの50年の間に鬼籍に入られた55名の会員に黙祷。会長として坂登君は、卒業当時の時代背景に触れながら挨拶。思えば昭和33年という福島秀策学長の時代、まさに高度成長の始まりでした。国民皆保険の実施、ガン制圧運動のスタート。日本映画「ALWAYS 三丁目の夕日」に見る世情そのものでした。東京タワーの建設、フラフープやロカビリーのブーム、集団就職列車（金の卵）等々、1万円札も登場しました。次

いで大橋君がこの会を持つに当たっての経過報告をし、これからの六喜会のあり方を説明。瀬田君による会計報告に続いて同窓会本部副会長・服部君（東京支部連合会長）から同窓会現況の報告があり、瀬田君による閉会挨拶。鳥根県からの吉田君の乾杯で懇親会に入りました。卒後初めての参加で50年ぶりに見る顔と名前が一致しない会員もいるので、一人ひとり自己紹介となりました。会員の殆どが今年から後期高齢者の仲間入り。何があっても可笑しくない年齢であれば、5名の幹事も疲れて来たということで、大橋君から再度理解を求める説明があり、また出席者からは多くの意見が出ました。3時間半ほどの時間も瞬く間に過

ぎ、またの機会を期待しながら解散。5名の幹事、井上君、岩松君、大橋君、坂登君、瀬田君、長い間大変ご苦勞様でした。

出席者

原田功一夫妻、坂登輝夫、白石雅子、今泉 功、河村孝昭、服部玄門、本田正宏、寺本康郎、岩松健雄、佐藤貞彦、大和田 哲、大和田美奈子、中川宏明、佐々木正矩、堀江英二、渡辺郁馬、轟 稔、守谷道明、山根守正、小川一男、浅井康宏、枝 重夫、新井和夫、鈴木智大、吉田滋美、大橋和夫、菅波要夫人、北原祐佐、北原上子、柳澤敏夫、中村昭仁、道脇公一、長塚 長、菅原佑典、田代 武、井上 昇、瀬田和夫 (佐藤貞彦 記)



ジーベン会

昭和34年卒

第50回総会、懇親会

平成20年度ジーベン会が10月13日～14日、1泊2日、長野県松本市を中心に開催された。初日浅間温泉ホテル「おもと」に集合、3時から総会を開催。司会、延島三男君、幹事長挨拶、山本啓介君、議長選出で議長の住井泰之君の指示で、昨年度の物故者、工藤幸男君（平成20年3月17日）、瀬高良一君（平成20年3月26日）の2名と合わせてこれまでの物故者41名に対して黙祷を捧げ、故人の冥福を祈った。

会務報告に移り庶務報告、市町村合併で住所地番が変更している所が多いので名簿の見直しを本年度中に行い、50周年記念平成21年度版名簿を発行の予定（庶務・村田基生）。
会計報告、渡辺吉明君

東京歯科大学同窓会報告、池田

漠君からは大学は更なる発展を目指して、水道橋に移転する計画を発表した。千葉病院は一部を残し28,500坪を売却した後、TDCビルを大学本体病院として使用する。三崎町二丁目に取得した土地には新しい教育施設と多目的なホールを建設すると報告があった。

続いて議事に入り節目であるこの時に、東京、市川、稲毛を見学することにし次回総会は発案者と委員に一任とした。総会、終了。

記念撮影

懇親会は延島君の司会、今回の旅行企画者鈴木和夫君、開会の挨拶で、久しぶりに出席の寺川國秀君の乾杯の音頭で会食となり、それぞれの時代を思い出しながら楽しい会食となった。

2日目、芸術の里安曇野めぐり。

安曇野の山葵田、碌山美術館。昼食は当然そば定食。かりんとうの店により安曇野アートヒルズミュージアム、ガラス工房見学。塩尻で寺川、間宮、磯部夫妻、中川武憲君と別れ、待望のりんご狩り。雨が降ってきたが大きな林檎を味見した後、各々買い物をして、松本駅で解散。三々五々帰路に向かった。

出席者は次の通り（順不同、敬称略）。

山本啓介、渡辺吉明、延島三男、寺川國秀、池田 漠、八木 博、住井泰之、柿原昌一郎、岩瀬 朗、間宮 亨、中川武憲、大金正幸・知子、高柳悦郎・幸子、磯部喜彦・一恵、伊藤 清・泰子、鈴木和夫・シゲ子、村田基生・翠、会員17名、奥様6名、合計23名。

（村田基生 記）



八 紫 会

昭和35年卒

花岡君が投稿してからはや1年が過ぎようとしています。八紫会の皆様におかれましては如何がお過ごしでしょうか。

第48回八紫会総会は、10月11日午後2時新山口駅に集合し、バスにて日本最大のカルスト台地秋吉台並びに秋吉台の地下100メートルの地底に広がる日本最大の鍾乳洞で黄金柱、百枚皿等の何万年も時を掛けて作られた造形物が続く秋芳洞を散策し、維新発祥の地萩の松陰神社に参拝、境内にある松下村塾を見学した後、今夜の宿泊地「萩の宿常茂恵」に到着。入浴、休憩後総会を開催。橋詰理事が菊池会長の挨拶文を代読、1月に亡くなった宍倉君の御冥福を祈った後、遠来の花岡君の乾杯の発声で懇親会を開催、後は例の如く盛り上がり、又部屋を変えて飲み……、最近は何のせいもその日のうちに終了となったようです。

翌日は早朝よりバスで山陰の小京都津和野を散策し胴体周囲と体長と同じ長さのメタボの鯉を眺め、鷺舞神事縁の像の前で記念写真を撮り、次の行程の世界遺産に指定された石見銀山へと向かい、公開されている龍源寺間歩まで、上り2、3キロの道のりを徒歩にて行き、見学してまいりました。大変でした。その後はバスにて一路山陰の名湯玉造温泉「佳翠苑皆美」に宿泊。此の日より中根君が参加、宴会時に母校並びに同窓会の近況について報告を頂き又乾杯の発声も頂き開宴……。閉宴後は場所を変えて二次会を開きカラオケで一騒ぎ、あまり遅くならず就寝しました。

翌13日は松江城を見学し、松江市の一望できる天守閣に登り眼下に宍道湖を望む素晴らしい景色を満喫、又松江城の内堀、外堀を巡る堀川遊覧船に乗船し、船頭さんのガイドで

城の周囲を1周したあと昼食を摂り、最後の訪問場所出雲大社に参拝、本殿は60年に一度の大改修とのことで、仮社殿で二礼四拍一礼の様式にて参拝をしてまいりました。その日は日本三大大学駅伝の出雲駅伝があり、選手には遭遇しませんでした。道端には各大学の旗が多く立てられ壮観でした。あとはバスにて出雲空港、松江駅と見送り、やや強行軍ではありましたが楽しい旅行に、来年の再会を約し別れを惜しみつつ解散いたしました。

尚、11日早朝より有志で宇部72カントリークラブ江畑池コースでプレーを楽しみました。

参加者は足立夫妻、大門、岸夫妻、黒田、小宮、櫻井(和)、須田、田上、富澤、中根、長井、橋詰、長谷川、花岡、嶺脇、宮下(達)、渡辺(典)の諸兄姉と林でした。

何はともあれ4日間晴天に恵まれたということは大変幸運でした。

(林 博司 記)



富 巳 会

昭和40年卒

懇親クラス会開催

富巳会は、隔年に各地持ち回りで
のクラス会を恒例としています。他
年度のクラスに比べ、逝去者が多い
という不幸な状況にあり、又、体の
不調や家族の介護などで泊りでのク
ラス会へ参加出来ない状況が多く現
れています。

そこで元気な会員が多い内に、隔
年の例会の間の年に都合の付く会員
は集合と、全国から直行出来て集合
が一番楽な東京で、総会とは別に懇
親クラス会を開催しようと、会長・
幹事長と東京在住の幹事で発案し
て、今回の懇親クラス会を開催しま
した。

平成20年10月12日(日)午後5時、
新宿京王プラザホテル42階「高雄」
の間に多少遅れて参加のメンバーも
いましたが、総勢40名が集合しまし

た。総会はなしといっても一応形と
して、大井基道会長挨拶、白井久雄
幹事長の懇親クラス会開催の経過報
告、簡単な会計現況報告を丹羽ひさ
ゑ担当が行いました。乾杯は、次の
クラス会開催予定の山形・堺 清一
君が発声しました。

和気藹々の懇親会ですから、呑み
かつ喋りの会となりました。今回は
特に予定は組んでいませんでした
が、東京恒例の石山照雄君の司会
で、間に丹羽ひさゑさんの歌を挟ん
で、近況報告を全員が行いました。

2時間余りの歓談の後、気分が高
揚した所で、同ホテル44階「ハーモ
ニー」に会場を移し、二次会に入り
ました。引き続き石山君の司会でカ
ラオケ大会となり、研究会で遅参し
た加藤和子さんの手踊りを加え、賑
やかに過ごし名残を惜しみ立ち去り

がたい様子でしたが、三本締めを
もって9時過ぎ散会となりました。

前回兵庫でのクラス会で、次回開
催は山形と提案されていましたが、
堺 清一君が快く引き受けられまし
た。日程を秋としたいと提言しまし
たが、後日連絡があり、10月の紅葉、
又は、6月のサクランボの時期、
のいずれかにするとありましたので、
会員諸兄姉は来年の予定に加
えておいて下さい。なお、混雑を避
けるために、平日を予定している
とのことです。

(小林伯男 記)



八 実 会

昭和53年卒

「八実会30周年 IN 福岡」を残暑厳しい10月12日(日)、福岡市で開催しました。会員30名、家族10名又卒業時学年副主任だった母校現副学長の薬師寺 仁先生にも来賓として出席していただき計41名の、地方では久しぶりの八実会でした。

薬師寺先生はじめ31名の観光組は、当日午後1時30分福岡空港に集合、観光バスで一路大宰府へ。薬師寺先生にも参加していただいたため、卒業30年目の修学旅行気分です。先ず3年前にオープンした九州国立博物館へ到着、特別展も開催されていましたが今回は常設展示場を見学、時間が少なくゆっくり見て回ることが出来なかったのが残念でした。博物館から連絡通路を通して、学問の神様菅原道真を祭る大宰府天満宮へ。境内では皆さんそれぞれ願いを込めて参拝したり、お守りを買ったり。現在母校の4年生の学年主任を勤める田崎君(生理学教授)

は学年全員の進級を祈願し、又お守りを戴いていたようでした。帰る途中参道の茶店にも立寄り、名物の梅ヶ枝餅を賞味して市内のホテルへ向いました。

懇親会は6時30分より直接組も加わり、博多の歓楽街中洲の夜景が一望できる那珂川沿いの博多料理「春駒」にて開催しました。会長が遠来の参加者への感謝の言葉の後、来賓の薬師寺先生から卒業30周年への御祝の言葉をいただきました。乾杯ははるばる北海道・帯広から参加の市之川(旧澤田)さんをお願いしました。懇親会は地元で獲れた新鮮なフグ料理や透き通ったイカの生き造りなどを堪能しながら、あちこちで談笑の輪が出来ていました。次いで那珂川の川辺りにある二次会場へ移動、川面に映るビルのネオンを見ながら又そよ風を顔に受けながら、楽しいひとときを過しました。最後の締めは立ち並ぶ屋台でのとんこつ

ラーメン。

短い時間ではありましたが、参加した皆さんには大変楽しんでいただいた、「八実会30周年 IN 福岡」だったのではと思います。

翌日も快晴で、近郊の柳川や能古島へ行ったり、熊本・阿蘇や長崎方面へ足をのぼす人、又帰りの時間までショッピングを楽しんだり九州、福岡を満喫していただいたようです。

来年は総会を東京で開催しますので多くの皆さんに出席していただきたいと思います。

(永江健一 記)

写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。



翔 蜻 会

昭和55年卒

安藤智博君の教授就任を祝う

安藤智博君が東京女子医科大学歯科口腔外科の主任教授に就任しました。我が翔蜻会からは母校東京歯科大学インプラント科の矢島安朝教授に続き二人目の教授就任です。安藤君は昭和55年医療練士研修生として女子医大歯科口腔外科に入局し、平成8年講師、13年助教授となりこの度20年4月の主任教授に就任となりました。我々同級生にとって大変喜ばしく、進学課程からの遊び仲間一人としても嬉しく思います。

去る平成20年11月2日(日)飯田橋・ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、午後5時より安藤智博教授により「医科大学における歯科口腔外科」と題し講演をしていただき、短い時間ではありましたが、特に「ビスフォスフォネート系薬剤の

投与患者についての話」は大変有意義なものでした。

その後翔蜻会の総会に移り、副会長の須賀俊二君の開会の辞・会長の村山利之君の挨拶後、議長に昨年長崎で開催されたクラス会で大変お世話になった広田明彦君を選出し、議事に入り鈴木 勝副会長の事業報告・山下 誠会計幹事からの19年度収支決算報告があり、古屋紀子監事の監査報告後承認され、2年後が



卒後30年になるため「卒後30周年の記念品を大学に贈呈する件」の承認を受け、次回クラス会は2年後に東京で開催する事と決まりました。

集合写真を撮影後、幹事の佐久間研次・志賀泰昭両君の司会により懇親会に移り、北海道・沖縄からの参加者もあり、楽しいひと時を過ごしました。途中、安藤君に多くの友人から、学生時代の思い出話やお祝いの言葉があり、公務で途中から参加した矢島安朝教授や東海大医学部附属八王寺病院口腔外科医長で准教授の坂本春生君からも励ましの言葉がありました。アトラクションで豪華な賞品の抽選後、閉会となりました。

次の日が祝日ということもあり多くの出席者が二次会に参加し、夜遅くまで話が尽きないようでした。

(臼井文則 記)



新 葉 会

昭和63年卒

卒業20周年クラス会開催

平成20年9月20日(土)、水道橋の東京ドームホテルにおいて卒業20周年記念クラス会が開催されました。

総会は渡邊宇一君の司会のもと、寺田仁志君より開会挨拶、庶務および会計報告がありました。また、クラス代表と大学との懇談会の様子も報告されました。議事としてクラス会の慶弔費が取り上げられ、今後検討していくことになりました。幹事の渡邊君、寺田君、感謝しております。

引き続き、田中五郎君より「卒業20年」と題した講演がありました。田中君は横浜で開業されておりますが、口腔ケア&総義歯の大家である

加藤武彦先生のもとで研鑽を積まれた20年間のことを、症例のスライドを使って話してくれました。超高齢化社会を迎えている今、たいへん有意義な講演でした。また趣味のブロードウェイミュージカルのお話もされ、とても興味深く聞くことができました。

講演終了後、集合写真の撮影となりましたが、新幹線の事故のために3名が来られないというアクシデントがあり心配しました。幸い懇親会には間に合い、松澤政彦君の軽妙な司会のもと松浦信一君の開会の挨拶で楽しい宴会が始まりました。2年前、東京でかなり久しぶりのクラス会がプレ卒業20周年として開催さ

れ、69名という多くの参加者がありました。今回は2年しか経ってないせいか少し減って58名となりましたが、副主任をしていただいた矢島麗先生をお迎えし、2年前には欠席だったクラスメートも加わり楽しい宴と相成りました。麗先生は相変わらずのお美しさで、一同びっくりしておりました。

卒業20年ということで、お互いの近況や変化、家族のこと仕事のこと、そして今回は「健康」の話題が多く話されていたようです。「アラウンド・フィフティー」世代ですので、みなさん身体には十分気をつけて、次回また元気にお会いしましょう！

(古川由美子 記 (旧姓葛西))



平成会

平成1年卒

平成20年9月14日(日)、平成会では5年ぶりに6回目のクラス会を開催した。

昼過ぎより水道橋病院の血脇記念ホールにて総会を行った。我々の登院時代、水道橋病院は旧校舎であったため現在の水道橋病院を初めて見る者もいて、入り口が分からずに通り過ぎる者有り、血脇ホールの場所が分からず1階でうろうろしている者も有り、それでも多くの出席が得られ、高橋義弥君を議長に選出して肅々とした。

ひきつづき、卒業時の副主任でクラウンブリッジ補綴学講座の主任教授・佐藤 亨先生から現在の大学の様子、最新のクラウンブリッジの話題等についてご講演をいただいた。変わっていく大学の様子に皆興味

津々で聞き入り、予定の時間をかなりオーバーして活発な質疑応答が交わされた。

その後、東京ドームホテルの42F シリウスへと場所を移し懇親会を行った。来賓の野間弘康名誉教授、山根源之教授からご挨拶をいただき、佐藤 亨教授による乾杯の音頭で開宴した。そのころには、北は北海道から南は鹿児島まで90余名の参加があり宴会場は超満員！みんな食事をするのも忘れて、昔話に近況報告にと大盛り上がりであった。途中、田 昌文君が夏休みに撮りためてくれた最近の稲毛と市川の様子を中心とした400枚に及ぶスライドショーや、誰かがお宝としてこっそり持っていた卒業式のDVDが披露されたりしながら、あっという間に

お開きの時間となった。その後、写真室へ移動して集合写真を撮影した。当然、多くの者が飲み足らず話足らず、ぞろぞろと移動して水道橋病院向かいの居酒屋「天狗」で2次会を開始。ワンフロアほとんど貸切りの中、店のグラスが無くなるまで飲み続けて明日への活力とした。

今回、ご出席下さった方も、都合で残念ながら出席できなかった方も、平成21年4月には卒後20周年記念誌を発行しますので、全員参加しましょう！ただいま原稿募集中です。最後に、実行委員長として大活躍してくれた川崎由希子さん、ありがとうございました。次回のクラス会は、平成25年に北海道で行うと巢山 達君が力強く幹事を引き受けてくれましたのでよろしく願いたします。

(川越元久 記)



OB会・グループ・サークルだより

現役部員の活躍で歯学体での数十年ぶりの優勝にわく陸上部 OB

長い伝統と150名以上のOB会員がいる本学陸上部は、金子学長と同級生の前OB会長の加藤千織先生などが中心となり、箱根駅伝やオリンピック選手として有名な体育の竹中正一郎教授のご指導により全日本医歯薬獣陸上大会で9年連続優勝をしていました。金子学長は学生の時は100メートルなどの短距離の選手として大活躍されておられました。

しかしながら平成になってからは時代の趨勢もあり、競技をやる部員も数も少なくなり、一時は部の存続の危機の時もありました。現在5年生になる5名が入部して以来、ここ数年は部員数も多くなり、徐々に大会での入賞者も増えてきました。そして本年は歯学体の陸上部門の主管校となり、8月3日に千葉市「青葉の森陸上競技場」において歯学体の陸上競技大会が開催されました。当日は体育の中村光博教授や井上前理事長のお骨折りで、審判員などに千葉県陸連の方々の全面的な協力が得られました。当日は10名を越す、多くのOBも早朝から応援に駆けつけ、40℃近い猛暑のグラウンドで、現役時代を思い出し、熱心に幅跳びなどのコーチを買って出るOBもおりました。

主管校としての準備などに追われながら合宿などで練習にも励み、男子400mリレー、1600mリレーなどに優勝し、これらを含めて8種目で優勝し、さらに多くの種目でも上位入賞を果たしました。特に主将の多田恵子選手は女子3000m、800

m、400mなど全てに優勝し、さらに400mリレーでも2位となり、最優秀選手賞を獲得いたしました。そして遂に長年の夢でありました歯学体陸上部門の総合優勝を飾ることができました。

本当に久しぶりの優勝の祝賀会と、長年にわたり陸上部の発展に尽力されました前OB会長の加藤千織先生に感謝する会が20年11月29日(土)にアルカディア市ヶ谷において開催されました。当日は金子学長はじめ多くのOBが参加され、自分が競技していた時代のことを思い出し、現役の学生さんとの交流も図られました。

(陸上部OB会へのご連絡はOB会総括幹事の花上健一(平成4年卒)電話、FAX:046-241-1158までお願い申し上げます。)

(陸上部OB会長 矢崎秀昭 記)



竹中正一郎先生は独特のスタイルでグラウンドに立たれ、競技部員一人一人に合った練習メニューを作成し、ご指導いただきました。



市川のグラウンドで恩師・竹中正一郎先生のご指導でみんな一生懸命走りました。

宮地建夫(S42年卒)君は800mの名選手でした。



20年8月3日 優勝の喜びにわく現役部員、中村部長、応援のOB

第9回轍会（自動車部OB会）

今年も自動車部OB会主催で現役学生とOBとの交流を深めるために平成20年10月12(土)・13(日)の2日間に渡り「轍会ミーティング」が行われましたのでご報告いたします。

轍会ミーティングも今回で9回目となり、内容的にも参加人数的にも充実してきたように思います。特に今回は「もう少しアカデミックな内容も入れてはどうか?」と言う意見から学術セミナーも合わせて行われました。

寒くもなく、暑くもなく穏やかな土曜日の午後、まずは現役学生たちの活動を見るべく、千葉キャンパス内の自動車部ガレージに集合し、キャプテンである真山くん(4年生)から現在の活動報告などをしてもらいました。

例年、入部する学生の減少に悩まされてきた我が自動車部ですが、昨年今年と入部者が多く、むしろ指導する側の人間(上級生)が少ないと言う現状が把握できました。

その後、学内のセミナー室に移動し、安部井寿人先生(昭和37年卒)を講師として迎え「患者のQOLの根源にせまる歯科医の生きがい」と言うタイトルでご講演をいただきました。

セミナーの内容は日々の臨床において、常に考えさせられる咬合(咬み合わせ症候群)に関するものでした。

我々臨床医にとって、日々努力し治療に励みながらも不定愁訴を訴えられる患者さんの苦痛とその解決策への糸口などが興味深く語られました。

また、解剖学や補綴学を学び始めた学生たちにとっても将来の臨床家になるにあたって、わかりやすく、非常に聞きがいのある講演であった

と思います。

セミナー終了後「実習なども行えるような内容で続編をお願いしたい」と言う意見で締めくくられました。

懇親会の会場は昨年と同様に稲毛海岸駅近くの居酒屋で行われ、OBの先生方から近況報告や現役学生たちへの温かいメッセージなどをいただき、交流を深めることができました。また、後から駆けつけられたOBも含め、非常に盛況な会になったと思います。

翌13日は市原市の南千葉サーキットを貸し切ったの走行会が開かれました。

午前中はOBと現役学生の混走によるサーキット走行を楽しみました。

OBの先生方は「非常に安定感のある走り」を披露されました。逆に現役部員の走りはOBの先生方から「まだまだだな」など、辛口の批評が出ておりました。

パンクなどのトラブルはあったものの、事故もなく、午前の走行会が終了しました。

遠方から参加された先生や午後に入事の入っている先生もいらっしやり、お昼で中締め、解散と言う形を取りました。

午後からは元全日本選手権ラリードライバーである奥平紳一朗先生(昭和56年卒)を講師に「プレー

キングの基本」「ステアリング操作の基本」「危険回避の基本」など、貸し切りサーキットならではの練習を現役部員に指導していただきました。「自動車部って体育会系だったのか」と痛感した学生もいた事でしょう。後日、腕や脚が筋肉痛になった学生もいたのではないのでしょうか?

日常の運転においてもこれら運転操作の基本を習得しているかいないかは大きな違いであり、非常に充実した練習だった事と思います。

最後の1時間は基礎練習を踏まえてのサーキット走行を行いました。

すると、部員たちは午前中の「へなちょこな走行」とは見違えるように「元気な走り」をしていました。

やはり「何事も基礎練習が大切なのだ」と実感できたのではないかと思います。

来年は今年以上に参加者が増え、現役とOBとを繋ぐミーティングになってほしいと期待します。

参加者氏名(順不同)

山本啓介、安部井寿人、初鹿繁和、白井久雄、大岡紀一郎、関谷和夫、須田昇、浦井照彦、東海林秀樹、河村正夫、角田正健、山田英夫、林量一、奥平紳一郎、鈴木潔、高品和哉、根岸史郎、田崎裕紀、櫻井善明、周東左起子、堀雄一、小川大輔、市原雅也、鈴木博也

(担当・平成8年卒・櫻井善明)



故松崎邦夫君と柔道部の思い出

先月号の同誌にクラスメート松崎邦夫君の逝去の報せが載っておりビックリした。「松崎君、お前もか！」と愕然としたのであった。これで入学当時200名の同級生が残り私も入れて3名になってしまった。松崎君とはクラブ活動の柔道部員として特に親しかった。4年生の時（当時は4年制の専門学校だった）今年強い部員に恵まれたので、医歯薬リーグ戦に優勝しようではないかと意気込み、合宿までやる事にした。合宿所は学校から近いところに十数人泊まれる下宿屋に決めた。第一日目に意外な事態が起きた。下宿屋のお婆さんはどれ程のご飯を用意してよいか見当がつかなくなったらしく、食べ始めるとおひつの底が見えて来た。大慌でで大至急お米をといで強い火で炊き上げ、まだ蒸れていないご飯を女中さんが待っていた私達によそって下さって「済みません！」を連発し、焼きあげたばかりの熱いご飯を苦心して食べたのであった。東京歯科の道場で柔道着に着替え、サンダル履きで水道橋を渡るとそこが講道館入り口であった。当時の道路は狭かったので文字通り指呼

の間^{かん}だった。講道館本部の小さな建物が現在の後楽園の一角にあった。当時の後楽園は砲兵工廠の跡地であり、軍隊特有の広大な広場で飯田橋近く迄何も無い広々とした演習場であった。横道にそれたが、今考えると小さな講道館本部だけが新築間もない存在だったのである。

練習場は校門の左側に柔道部の小さい道場と木造の部室があったが、当時の講道館は東京歯科から目と鼻の先にあった。松崎君も僕も講道館の二段で受付は顔パスの状態だったので「こんにちわ！」の一言で道場に入り、見ず知らずの相手に「お願いします」と言って自由に練習できる恵まれた状態だった。古くて狭く窓の大きくない母校の練習場よりも講道館の方が快適だった。冷房というものは、昭和11年には日本中どこにも存在しない時代だったのだ。例えば、臨床実習の診療中、汗が背中を流れて行き、診療を終わった患者さんの背中汗ビッシヨリになっている状態で、それが当たり前であった。

柔道部の道場は木造二階建ての二階であり通風が悪く、今考えてよく

あんなところで練習したものだ感慨無量である。講道館本部の道場が近くにあったのは幸いだった。現在はその跡形もないがその講道館での練習のお陰で優勝できたのかも知れない。当時の柔道部の監督は柔道一筋の人物で警視庁の柔道指導部長の関根六段であった。

さて、試合当日の松崎君の相手は宿敵日本歯科医専の主将らしき強豪で、今も思い出すのは時間切れも後何分かに迫った時「技あり」を取られた後に松崎君の捨て身の一撃大外刈りが見事に決まって審判が「一本！」とハッキリ宣言した時のあの一瞬である。主将の三浦君がそれこそ肌身離さず優勝旗を持ち帰り、母校の中央ホールで記念撮影を終える迄、さながら私物の如くしっかりと持っていた事も思い出深い。

俺も間もなく松崎君の仲間入りをする事になるが、早く逝ったもう一人の柔道部員九州男児の玉置君と四人で医歯薬リーグ戦の思い出話と青春を語り合おうじゃないか！

(S.12年卒

押見 宏 (92歳) 記)

メールでの投稿に際してのお願い

ご投稿頂いた原稿の受け渡しに、トラブルがありました。原稿受け渡しの確認不足と、不手際をお詫びいたします。今後の対策として、メール添付の場合以下の手順を踏むことといたしました。多少煩雑な点もありますが、間違いを防ぐために、ご協力下さい。

1. メール添付の場合、同時にFAXで同窓会事務室に送った旨（氏名、原稿の種類など）をお知らせ下さい。（原稿の管理は、事務局で行っているので、確認のため）
2. メールで頂いた場合、担当より受領の返信メールを差し上げます。返信がない場合（おおよそ1週間）事務局へご連絡下さい。
3. 送付先アドレスは、以下に統一いたします。他のアドレスを記録されている方は、変更をお願いいたします。

送付先：kouhoubu@tdc-alumni.jp

すいどうばし

榊原悠紀田郎先生を偲ぶ会

東京歯科大学社会歯科学研究室 石井拓男

榊原悠紀田郎先生を偲ぶ会が、平成20年9月23日に開催されました。この会は、24団体にも及ぶ発起人により構成されており、参加者はおよそ250名となりました。榊原先生の歩まれた領域の広さと深さを物語っているものと思います。

榊原悠紀田郎先生は平成20年6月10日に亡くなられ、翌11日に通夜、12日に告別式が行われましたが、この榊原家のご葬儀の当初から合同のお別れの会をという声が上がっていました。ことに、榊原先生が現職のまま亡くなられた、東京歯科大学（法人評議員）と（財）口腔保健協会（理事）、そして任意の団体ですが榊原先生が常時出席していたヨナミ会といった、法人・会から開催の意向がありました。その後、日本歯科医師会、日本歯科衛生士会、日本学校歯科医会等の、榊原先生がその活動事業に尽力された公的な団体や、日本口腔衛生学会、日本歯科医史学会、愛知学院大学の他、東京歯科大学神奈川県支部連合同窓会等も加わり、私の予想を遙かに上回る多くの会・団体が参加してくださいました。さらに会が終わった後にも、何故うちの会が発起人に加わってなかったのか、というお叱りを受けるありさまでした。改めて榊原先生の大きさを見せつけられた幸いです。

偲ぶ会は、金子 譲（東京歯科大

学学長）、大久保満男（日本歯科医師会会長）、中垣晴男（愛知学院大学歯学部教授）、岡田昭五郎（口腔保健協会理事長）、金沢紀子（日本歯科衛生士会会長）、櫻井 善忠（全国歯科衛生士教育協議会会長）から追悼の言葉を頂き、松島悌二（日本学校歯科医会会長）から献杯の発声を頂きました。

会場では榊原先生が整理されていたご自身のアルバムを展示回覧し、参加者皆様で在りし日の先生との思い出を語り合っていました。そのアルバムは、ご令嬢の榊原紀美子様によれば、この日のために榊原先生が用意しておいたものとのことでした。写真を手に縁のある方々が大いに盛り上がっている横で、先生はニコニコされていたに違いありません。「このような会にしたかったのだよ」と。

参列の皆様には、金子 譲学長と榊原先生が今年の5月15日に対談をされた時のVTRをご覧頂きました。学長が東歯120周年に当たり、諸々の故事来歴を榊原先生から確認しておきたいとの意向で実現した対談でした。先生の最後の映像となったものです。

また、榊原先生が十八番とされていた“桃太郎”のVTRも上映いたしました。ほとんどの参加者が知っている“榊原桃太郎”です。先生の

米寿の会の折りに撮影されたものでした。4年前でしたが、先生は元気ハツラツで実に流暢な桃太郎でありました。

多くの参加者から、久しぶりに榊原ワールドに浸ることが出来て良かったという感想を頂きました。榊原先生の在りし日を偲ぶ言葉も沢山頂きました。中でも、先生への感謝の言葉の多かったことに心を動かされました。

榊原先生は、愛知学院大学を退職した後も20年に渡って歯科界で現役として活躍されました。特に執筆活動は目覚しく、現役の大学人でもかなわないほどの著書と論文をだされました。その殆どが単著であることに先生のすごさがあると思います。退職後の活躍が目立つため、先生が現役当時に果たされた多くの功績が歯科界の記憶から遠のいている観があります。しかしながら、学校歯科保健に始まる公衆歯科衛生活動、歯科医師・歯科衛生士教育、社会歯科学と歯科医学史における研究活動、日本歯科医師会での多くの委員会活動、そして厚生労働省の検討会を通してなされた国策への貢献等は間違いなく後世に残るものであり、国民の福祉に貢献するものがあります。



平成20年5月15日 金子学長との対談



平成20年9月29日 榊原先生をしのぶ会



榊原先生が用意したアルバム

庶務日誌

11月

1) 理事会

11月21日(金) 第6回理事会

2) 委員会

11月4日(火) 学術部委員会 (プログラム委員会)

5日(水) 総務部打合せ

7日(金) 渉外部委員会

10日(月) 学術部委員会 (将来像検討委員会)

11日(火) 広報部委員会 (会報編集)

12日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)

18日(火) 学術部委員会 (プログラム委員会)

25日(火) 学術部委員会 (企画会議)

25日(火) 保険部委員会

26日(水) 情報部委員会

26日(水) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会

3) 出張

11月2日(日) 東歯祭 大山会長出席

13日(木) 六歯科大学歯学部校友会同窓会懇話会
大山会長, 鳴神囑託出席

15日(土) 北海道地域支部連合会卒後研修会
阿部二郎氏 (東京都開業)

19日(水) 芝支部学術講演会
講師・関根秀志准教授 (母校)

23日(日) 近畿地域支部連合会総会(大阪府支部担当)
大山会長, 神谷副会長, 小室理事出席
学術講演会 講師・川口 充教授(母校)

29日(土) 熊本県支部総会 江崎副会長出席
学術講演会 講師・井上 孝教授(母校)

29日(土) 島根県支部総会 神谷副会長出席
学術講演会 講師・加藤広之講師(母校)

30日(日) 東信支部総会
学術講演会 講師・帛田克巨氏 (神奈川県開業)

4) 事業

11月9日(日) 卒後研修セミナー
〔卒研フォーラム(No.7 患者さんの健康を支援する～歯科医師のできることに歯科衛生士にできること～)〕

22日(土) 平成20年度評議員会・総会

12月

1) 理事会

12月10日(水) 第5回常任理事会

2) 委員会

12月1日(月) 学術部委員会 (プログラム委員会)

2日(火) 広報部委員会 (会報企画)

3日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)

4日(水) 厚生部委員会

8日(月) 学術部委員会 (プログラム委員会)

11日(木) 情報部委員会

13日(土) 学術部委員会 (全体委員会)

17日(水) 学術部委員会 (研究部委員会)

22日(月) 学術部委員会 (企画会議)

3) 出張

12月4日(木) 父兄会・大学との懇談会

大山会長出席

6日(土) 山梨県支部総会 関専務理事出席
学術講演会 講師・原田 清氏 (山梨大学医学部歯科口腔外科教授)

6日(土) 東京地域支部連合会総会
大山会長, 中島常任理事出席

6日(土) 愛媛県支部総会 宮地常任理事出席
学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)

7日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会
服部副会長出席
学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)

7日(日) 茨城県支部総会 片倉副会長出席
学術講演会 講師・吉成正雄教授(母校)

7日(日) 千葉県支部総会 柳副会長出席

7日(日) 愛知県支部総会 神谷副会長出席
学術講演会 講師・千葉光行氏 (千葉県市川市長)

14日(日) 栃木県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・平井義人教授(母校)

14日(日) 静岡県支部総会 神谷副会長出席
学術講演会 講師・山根源之教授(母校)

20日(土) 大森支部総会 大山会長出席

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

- | | | |
|-----------|---------------------------------------|------------|
| ●昭 19.9 卒 | 田 島 太 郎 (86歳) | 20. 10. 14 |
| 岡山県支部 | 〒714-0081 笠岡市本町笠岡2203-3 | |
| ●昭 62 卒 | 吉 田 ジュリー (47歳) | 20. 9. 10 |
| 横浜中央支部 | 〒231-0827 横浜市中区本牧和田11-1-601 | |
| ●昭 19.9 卒 | 森 山 勇一郎 (87歳) | 20. 10. 19 |
| 秋田県支部 | 〒010-0500 男鹿市船川港51 | |
| ●昭 24 卒 | 大 津 二 郎 (81歳) | 20. 10. 24 |
| 北多摩支部 | 〒183-0015 府中市清水が丘2-30-8 | |
| ●昭 32 卒 | 小野寺 勇 往 (76歳) | 20. 10. 27 |
| 宮城県支部 | 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-4-2 | |
| ●昭 28 卒 | 吉 住 典 也 (80歳) | 20. 10. 18 |
| 埼玉県支部 | 〒355-0321 比企郡小川町大字小川148 | |
| ●昭 27 卒 | 白 石 立 夫 (79歳) | 20. 10. 27 |
| 麻布赤坂支部 | 〒106-0047 港区南麻布2-2-17-2 F 卓也デンタルクリニック | |
| ●昭 35 卒 | 飯 田 忠 男 (74歳) | 20. 11. 9 |
| 岡山県支部 | 〒718-0003 新見市高尾377-8 | |
| ●昭 20.9 卒 | 櫻 井 正 (84歳) | 20. 11. 16 |
| 北多摩支部 | 〒181-0013 三鷹市下連雀1-9-12 | |
| ●昭 57 卒 | 岩 田 和 久 (53歳) | 20. 11. 17 |
| 宮崎県支部 | 〒882-0872 延岡市愛宕町2-2277-1 | |

追 悼

岡 駒雄君を悼む

いそむ会 (昭和26年卒)



今は亡き岡兄の遺影を前にして、その古武士的風貌から、強い意志と質実剛健な気風が滲み

思えるのである。

そのような彼だからこそ、「男兄弟3人を同じ職業にして同じレベルの生活をさせてやりたい」という述懐から、3人のご子息が大学に入学して以来、自慢の太い足のスネを嫌という程齧られる苦労もあったと言

いながら、夫々独立し、盛業の今日である。

その反面、辛酸を嘗めた道筋であったが、つかんだ幸せの後、彼の望んだものは毎日の診療を終えて我が家に帰り、お孫さんの相手をするのがなよりの楽しみで、お守りは気が疲れるが可愛さが先に立って何の苦労もないと、過ぎ去った厳しさはなく、好々爺の日々を送られたとのことである。

その彼も病魔の進むのには逆らう術もなく、平成18年若い脳梗塞となり、入院加療を拒み、幸せなこと

によき内科医の先生に巡り合い、自宅療養で大変親切な往診のもと、介護も万全を期し、行き届いた闘病生活も彼の希望通りの毎日であった様で、思えば以って瞑すべきか、平成19年2月10日の雪の日に肺炎を併発し、自宅で大往生を遂げられたのである。

ここに「いそむ会」の友人の一人失い、痛恨の極みであるが、謹んで哀悼の意を表する次第である。

(貝塚雅信 記)

風の旅人

七十八期会（昭和48年卒）



Kazenotabibi105 @……, 9月3日亡くなられた二瓶博美さんのメールアドレスです。

卒業後いつのころからか、千葉の梨を送ると福島
の地酒が届きました。

お礼の電話をかけながらのおしゃべり、時にはメール交換と、それだけのつながりでしたが、私のたわいも無い話、同級生の近況等いつも楽しそうに聞いてくれました。同じ福島県出身のAクラス。まだ学生気分
の抜け切らない私と違い、二瓶さんは生きるという事を真剣に考え、自ら実行する人でした。

私は彼女の姿勢から、たくさんのことを教えてもらった気がします。

4年前の夏いつものようにお礼の電話をした時、苦しい息使いで、辛
そうなあなたの声に驚いてすぐ電話をきりました。白血病の治療法が見つからないまま外泊が許されたその日だったのです。でもその後、「体重は35キロまで落ちちゃったけど元気だよ。仕事もぼちぼち始めたよ」とメールが来た時は本当に嬉しかったです。その後も病魔との闘いは続きましたが、一人娘のみさきちゃんのために、驚異的な頑張りを見せてくれた時もありました。今は、残念でなりません。

喜多方での告別式。遺影の二瓶さんは、変わらず穏やかに微笑んでいました。

福島に戻られた二瓶さんは、地元の小学校のフッ素塗布を率先して行い予防歯科の面で大いに貢献なさい

ました。又母校のバスケットボールチームのコーチを引き受け、指導されていたと聞きました。教え子の代表の方が、「技術だけではなく大人になるための大事な躰や礼儀を教
えて下さいました」と、感謝の言葉を述べておられました。

「苦しい息の中でも、決して弱音を吐かず、最後までがんばった姿は、立派でした。尊敬しております」とご主人が挨拶なさいましたが、家族や地元の人々に愛され短
かったけど幸せで豊かな人生を送られたのだと、実感しました。

よかったね、二瓶さん。そして、長い間友達でいてくれてありがと
う。

心よりご冥福をお祈りいたします。
(萩野万里江 記)

橋本 優君を偲んで

八輪会（昭和50年卒）



9月23日に優ちゃんが亡くなったと野球部
仲間の藤川君から訃報を聞き呆然としてしまいました。

2年前に同期の渡辺君から正月の年賀の挨拶で優ちゃんの体調が心配だという連絡が入り、驚いて電話をしたところ病状について詳しい説明を受け、9月頃には抗癌剤の効果で良好な経過で診療をしていると聞き

安心しておりました。

君とは進学課程の野球部と一緒に過
ごし、豪腕投手としての活躍が懐かしく思い出されます。水道橋の専門課程に入ってから
は臨床実習で実に綺麗な仕事をして
いたのを思うと卒業後の医科歯科大の補綴科へ進み博士号を取得したのは当然
でしたね。

振り返ると、君とは在学中に北海道
に来て道南旅行へと楽しんだ事が昨日の
ことのように思い出されま
す。又卒業後は結婚された奥様と来

樽し小樽カントリー倶楽部でプレーしたり夜景をみて夏祭りの楽しい一時を
過したことが懐かしいです。

君のような剛健な人がなんでと悔しい
想いで堪らないです。

所沢に行った際に奥様からのお話で
歯科医師会の仕事など一生懸命に頑
張っていた様子を聞き本当にご苦
労様でした。安らかに休んでくださ
い。40年に亘り親交を深めてもら
い本当に有難う。心からご冥福をお
祈りします。
(千葉 亘 記)

◆投稿規定

- (1) 原稿締切り
原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) 投稿字数
① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。
- ③ 「追悼」は、500字程度
- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。
なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (5) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧ください。

◆へんしゅうこうき

★ ついに、アメリカ合衆国大統領にオバマ氏が決まりました。すこし前の19世紀、アメリカの白人は黒人を奴隷として扱っていました。その後の60年代におけるキング牧師の公民権運動やケネディ大統領の公民権法を思い起こせば、彼が提唱しているこれからの Changing より、彼が大統領になったことそのものが、想像を超える Changing であると思います。

かつて黒人ミュージシャンのスティビー・ワンダーが日本のとある都市で、盲目の高校生とピアノ競演をしました。聴衆から高校生への「目が不自由なのにすごいピアノが上手ですね」という質問に、すかさずスティビーが「ピアノの上手な子が、たまたま目が不自由なだけだよ」と答えていました。今回の選挙で「初の黒人大統領」とさわいでいますが、そんなことは関係なく「今度、大統領がオバマに決まったね」「父親がアフリカ系なんだね」と、さりげなくいえるような世界になれば、と感じた次第です。それにしても、言外の深い意味はともかくとして、日本の中学生でもわかる単純な「Yes, we can.」はいいですね。

★ 最近のある1年の統計ですが、G8のなかで日本はGDPに対する医療費が最低、一方、道路にかかるマネーは、8兆円で世界1、そのうち2兆円は道路特定財源以外の税金だそうです。このお金を、小児科、産婦人科、救急医療の体制・システム、さらに歯科部門にすこしでも、まわしていただければと念じるのは私だけでしょ。歯科医療のためにも一般の医療が充実される必要があります。

先進国を自認するなら、むだを省くことはあたりまえですが、医療費抑制はなじみません。国民のほとんどが望んでいることでしょう。あってはならないことです。誤解なきよう申し添えれば、厚労省のお役人は、その予算の中で努力していると思えますが……。(内山健志 記)

広報部委員会

委員長 小林 伯男
委員 内山 健志
林 量一
東郷 幹夫
白田 準
小池 修
尾崎 圭子
福井 雅之

広報部担当理事 三友 和夫

平成20年12月20日 印刷
平成20年12月25日 発行
東京歯科大学同窓会会報 第367号
同窓会ホームページアドレス
<http://www.tdc-alumni.jp>
発行人 三 友 和 夫
編集人 小 林 伯 男
東京歯科大学同窓会
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
電話 (03) 5275-1761
FAX (03) 3264-4859
印刷所 一世印刷株式会社
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
電話 (03) 3952-5651 (代)

平成20年度 評議員会・定時総会

(報告)

平成20年11月22日

於 ホテル メトロポリタン エドモント

平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会

(午前10時00分～午後3時30分)

- | | | |
|-----------------------|---|---|
| 1. 開会の辞 | 第7号議案 | 平成21年度事業計画 |
| 1. 点呼 | 第8号議案 | 平成21年度入会金(現行本学出身の
会員5,000円, 推薦会員50,000円) |
| 1. 会長挨拶 | 第9号議案 | 平成21年度会費(現行18,000円) |
| 1. 来賓挨拶 | 第10号議案 | 平成21年度経常部収支予算 |
| 1. 議長, 副議長選出 | 第11号議案 | 平成21年度特別会計収支予算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基
金, 名簿積立金, 退職積立金) |
| 1. 議事録署名人指名 | 第12号議案 | 平成21年度卒後研修セミナー, 卒後
研修セミナー積立金収支予算 |
| 1. 黙祷 | 第13号議案 | 平成21年度時局対策費積立金会計収
支予算 |
| 1. 報告 | 第14号議案 | 平成21年度名誉会員の推薦 |
| (1) 平成20年度会務報告 | 第15号議案 | 東京歯科大学同窓会共済規程の変更 |
| (2) 平成20年度会計現況報告 | 第16号議案 | 平成21年度共済負担金 |
| (3) 大学創立120周年記念事業について | 第17号議案 | 東京歯科大学同窓会会則一部変更を求
むるの件 |
| ① 記念式典について | 第18号議案 | 同窓会員3名における一連の事件に関
わる対応について |
| ② 水道橋移転について | 1. 協議 | |
| 1. 議事 | 1. 名誉会員表彰式 | |
| 第1号議案 | 平成19年度経常部収支決算 | 1. 叙勲, 褒章受章者顕彰式 |
| 第2号議案 | 平成19年度特別会計収支決算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基
金, 名簿積立金, 退職積立金) | 1. 同窓会会長賞表彰式 |
| 第3号議案 | 平成19年度卒後研修セミナー, 卒後
研修セミナー積立金収支決算 | 1. 閉会の辞 |
| 第4号議案 | 平成19年度総合政策費積立金会計収
支決算 | |
| 第5号議案 | 平成19年度財産目録
(監査報告) | |
| 第6号議案 | 財産(備品)廃棄処分 | |

第114回東京歯科大学同窓会定時総会

(午後3時40分～午後4時30分)

- | | | |
|---|---|-------------------------------------|
| 1. 開会の辞 | (同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基
金, 名簿積立金, 退職積立金) | |
| 1. 会長挨拶 | | |
| 1. 議長, 副議長選出 | 第3号議案 | 平成19年度卒後研修セミナー, 卒
後研修セミナー積立金収支決算 |
| 1. 議事録署名人指名 | 第4号議案 | 平成19年度総合政策費積立金会計
収支決算 |
| 1. 報告 | 第5号議案 | 平成19年度財産目録
(監査報告) |
| (1) 平成20年度会務報告 | 第6号議案 | 財産(備品)廃棄処分 |
| (2) 平成20年度評議員会報告 | 第7号議案 | 東京歯科大学同窓会会則一部変更を求
むるの件 |
| (3) 平成21年度経常部, 特別会計, 卒後研修セ
ミナー, 卒後研修セミナー積立金,
時局対策費積立金会計収支予算 | 1. 協議 | |
| 1. 議事 | 1. 閉会の辞 | |
| 第1号議案 | 平成19年度経常部収支決算 | |
| 第2号議案 | 平成19年度特別会計収支決算 | |

平成20年度東京歯科大学同窓会会務報告

(自 平成19年10月1日)
(至 平成20年9月30日)

1. 現在会員数	9,140名			森山貴史講師(母校)
内			16日(火)	広報部委員会(会報企画)
名誉会員	30名		17日(水)	千代田支部学術講演会 講師・渋川義宏 准教授(母校)
共済負担金免除会員	697名		18日(木)	学術部委員会(運営委員会)
高齢会員	553名		20日(土)	第6回理事会
不明会員	768名		20日(土)	十勝支部学術講演会 講師・山口秀晴氏 (元東京歯科大学教授)
2. 会員の移動			22日(月)	学術部委員会(企画会議)
新入会員	128名		23日(火)	学術部委員会(研究部委員会)
	(本年度卒業生 126名)		25日(木)	保険部委員会
	(他 2名)		27日(土)	第54回全国歯科大学同窓・校友会懇話会 (九州大学歯学部同窓会担当)
逝去会員	137名			
退会会員	3名			
3. 会 議				
評議員会	1回	11月4日(日)	東歯祭後夜祭	高原監事出席
定時総会	1回	6日(火)	学術部委員会(研究部委員会)	
東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯 会長と同窓会役員懇談会	2回	9日(金)	渋谷支部学術講演会 講師・矢島安朝教 授(母校)	
地域支部連合会主催学術講演会等	7回	10日(土)	神奈川相北支部学術講演会 講師・河原 武彦氏(神奈川県開業)	
学術講演会講師派遣	34回			
理事会	7回	11日(日)	卒後研修セミナー〔卒研フォーラム(No. 7 総合治療 個々の技術をどう活かす か)〕	
常任理事会	4回			
監査会	1回			
役員連絡会	1回	12日(月)	広報部委員会(会報編集)	
各種委員会	126回	16日(金)	第7回理事会	
卒後研修セミナー	7回	17日(土)	平成19年度評議員会・第113回定時総会	
4. 役員出張	45回(59名)	18日(日)	神奈川県支部連合同窓会学術研修会 講 師・矢島安朝教授(母校)	
5. 支部数	109支部			
6. 地域支部連合会数	11地域支部連合会	23日(金)	近畿地域支部連合会総会(和歌山県支部 担当) 小室理事出席	
北海道地域, 東北地域, 関東地域, 東京地域, 信越地域, 東海地域, 北陸地域, 近畿地域, 中国地域, 四国地域, 九州地域		26日(月)	学術部委員会(企画会議)	
		27日(火)	学術部委員会(研究部委員会)	
7. 会務報告		27日(火)	保険部委員会	
平成19年		29日(木)	父兄会役員・大学幹部との懇談会	
10月2日(火)	学術部委員会(運営委員会)			
3日(水)	地域支部連合会会長合同会議			江崎会長代行出席
6日(土)	九州地域支部連合会総会(沖縄県支部担 当) 江崎理事出席	12月1日(土)	山梨県支部総会 学術講演会 講師・櫻井 薫教授(母校)	
11日(木)	厚生部委員会	1日(土)	茨城県支部総会	
14日(日)	卒後研修セミナー〔欠損補綴編(No.6 少 数歯残存症例の咬合再構成)〕	1日(土)	学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)	
16日(火)	城東・深川支部合同学術研修会 講師・	1日(土)	東京地域支部連合会総会 遠藤理事出席	
			愛媛県支部総会	

	学術講演会 講師・柴原孝彦教授(母校)	27日(日)	埼玉県支部新年会	大山会長出席
2日(日)	栃木県支部総会	28日(月)	学術部委員会(企画会議)	
	学術講演会 講師・角田正健教授(母校)	31日(木)	六校新春懇親会	大山会長, 服部副会長, 関専務理事, 宮地理事出席
2日(日)	神奈川県支部連合同窓会総会	2月3日(日)	滋賀県支部総会	
2日(日)	岐阜県支部総会		学術講演会 講師・角田正健教授(母校)	
	学術講演会 講師・柴田敏之氏(岐阜大学大学院口腔病態学教授)	4日(月)	学術部委員会(運営委員会)	
2日(日)	東信支部総会	5日(火)	学術部委員会(運営委員会)	
	学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)	7日(木)	学術部委員会(運営委員会)	
2日(日)	千葉県支部総会	12日(火)	学術部委員会(運営委員会)	
	学術講演会 講師・高瀬保晶准教授(母校)	13日(水)	第1回常任理事会	
3日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)	14日(木)	広報部委員会(会報企画)	
4日(火)	広報部委員会(会報企画)	15日(金)	学術部委員会(プログラム委員会)	
5日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)	16日(土)	北多摩支部総会	大山会長出席
8日(土)	熊本県支部総会	16日(土)	情報部委員会	
	学術講演会 講師・阿部伸一准教授(母校)	18日(月)	学術部委員会(運営委員会)	
9日(日)	静岡県支部総会	19日(火)	東信支部学術講演会 講師・片倉恵男氏(中信支部長)	
	学術講演会 講師・柳澤孝彰教授(母校)	22日(金)	学術部委員会(全体委員会)	
10日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)	25日(月)	学術部委員会(企画会議)	
11日(火)	大学支部総会	26日(火)	学術部委員会(運営委員会)	
11日(火)	学術部委員会(プログラム委員会)	29日(金)	保険部委員会	
12日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)	3月1日(土)	青森県支部総会	大山会長出席
14日(金)	学術部委員会(全体委員会)		学術講演会 講師・佐野 司教授(母校)	
15日(土)	第8回理事会	1日(土)	全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会	
18日(火)	学術部委員会(研究部委員会)	2日(日)	全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会	
25日(火)	学術部委員会(企画会議)	4日(火)	学術部委員会(運営委員会)	
平成20年		6日(木)	厚生部委員会	
1月9日(水)	千代田支部新年会	8日(土)	群馬県支部総会	大山会長出席
	大山会長出席	9日(日)	三重県支部総会	神谷副会長出席
10日(木)	広報部委員会(会報編集)		学術講演会 講師・高野正行准教授(母校)	
12日(土)	第1回理事会	10日(月)	学術部委員会(運営委員会)	
15日(火)	学術部委員会(運営委員会)	11日(火)	広報部委員会(会報編集)	
16日(水)	学術部委員会(運営委員会)	12日(水)	東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会	
18日(金)	役員打合せ	12日(水)	学術部委員会(運営委員会)	
18日(金)	芝支部総会	12日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)	
19日(土)	東京地域支部連合会新年交歓会	14日(金)	東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式	江崎副会長出席
	大山会長出席	14日(金)	学術部委員会(運営委員会)	
21日(月)	学術部委員会(運営委員会)	15日(土)	第2回理事会	
22日(火)	学術部委員会(プログラム委員会)	17日(月)	学術部委員会(運営委員会)	
25日(金)	浅草・下谷支部合同新年賀詞交歓会	21日(金)	学術部委員会(運営委員会)	
	大山会長出席	22日(土)	福岡県支部総会	江崎副会長出席
25日(金)	学術部委員会(運営委員会)			
26日(土)	杉並支部新年会			
26日(土)	世田谷支部新年会			
	片倉副会長出席			

- 24日(月) 学術部委員会 (企画会議)
24日(月) 新入会員オリエンテーション
25日(火) 東京歯科大学第113回卒業証書・学位記授与式 大山会長出席
26日(水) 情報部委員会
29日(土) 山形県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・金子 譲教授(母校)
- 4月1日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
2日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
2日(水) 保険部委員会
4日(金) 総務部, 学術部, 広報部, 情報部連絡会
4日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式 大山会長出席
5日(土) 東京歯科大学入学式 大山会長出席
7日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
8日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
9日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
9日(水) 第2回常任理事会
10日(木) 渉外部委員会
11日(金) 広報部委員会 (会報企画)
13日(日) 学術部委員会 (運営委員会)
14日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
15日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
16日(水) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会
17日(木) 学術部委員会 (プログラム委員会)
18日(金) 学術部委員会 (研修委員会)
19日(土) 宮城県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・一戸達也教授(母校)
20日(日) 卒後研修セミナー〔実技セミナー (No.1 徹底的にSRP～歯周病専門医から学ぶグレースリー・キュレット～)〕
23日(水) 監査会
24日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
25日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
28日(月) 学術部委員会 (企画会議)
28日(月) 保険部委員会
30日(水) 情報部委員会
30日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
30日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)
- 5月7日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
9日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
10日(土) 第3回理事会
10日(土) 四国地域支部連合会総会 (徳島県支部担当) 江崎副会長, 久保田理事出席
学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)
- 12日(月) 広報部委員会 (会報編集)
13日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
14日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
19日(月) 広報部・情報部連絡会
21日(水) 厚生部委員会
23日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)
25日(日) 卒後研修セミナー〔実技セミナー (No.2 見直そう口腔外科疾患の診断と基本手技)〕
26日(月) 学術部委員会 (企画会議)
27日(火) 情報部委員会
28日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
29日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
29日(木) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会
31日(土) 福島県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)
31日(土) 富山県支部学術講演会 講師・奥田克爾名誉教授 (母校)
- 6月2日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
2日(月) 保険部委員会
9日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
10日(火) 広報部委員会 (会報企画)
11日(水) 第3回常任理事会
13日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
13日(金) 渉外部委員会
14日(土) 川崎支部学術講演会 講師・櫻井 薫教授 (母校)
17日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
18日(水) 学術部委員会 (将来像検討委員会)
21日(土) 東北地域支部連合会総会 (秋田県支部担当) 大山会長, 柳副会長, 岩沼理事出席
学術講演会 講師・山根源之教授(母校)
21日(土) 信越地域支部連合会総会 (新潟県支部担当) 片倉副会長, 関専務理事, 片桐理事出席
学術講演会 講師・花岡洋一准教授 (母校)
21日(土) 九州地域支部連合会支部長会 江崎副会長出席
21日(土) 卒後研修セミナー〔実技セミナー (No.3 実践MTM ステップアップコース)〕
22日(日) 卒後研修セミナー〔実技セミナー (No.3 実践MTM ステップアップコース)〕
23日(日) 学術部委員会 (企画会議)
24日(火) 情報部委員会

- 27日(金) 品川・荏原支部合同学術講演会 講師・佐野 司教授(母校)
- 7月4日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)
- 4日(金) 保険部委員会
- 5日(土) 十勝支部学術講演会 講師・武田孝之氏(母校臨床教授)
- 5日(土) 学術部委員会(運営委員会)
- 6日(日) 卒後研修セミナー〔実技セミナー(No.4 新素材, 歯冠修復の新たな潮流～メタルフリー修復の実際とその基本手技～)〕
- 6日(日) 埼玉県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・田崎雅和教授(母校)
- 7日(月) 学術部委員会(運営委員会)
- 8日(火) 学術部委員会(将来像検討委員会)
- 9日(水) 学術部委員会(プログラム委員会)
- 11日(金) 広報部委員会(会報編集)
- 12日(土) 岡山県支部総会
学術講演会 講師・福田謙一准教授(母校)
- 12日(土) 群馬県支部総会 片倉副会長出席
学術講演会 講師・一戸達也教授(母校)
- 12日(土) 第4回理事会
- 13日(日) 愛知県支部学術講演会 講師・中川種昭氏(慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教授)
- 15日(火) 会則等検討委員会
- 16日(水) 東京地域支部連合会学術講演会 講師・高柳篤史氏(埼玉県開業)
- 17日(木) ゴルフ大会実行委員会
- 18日(金) 学術部委員会(運営委員会)
- 23日(水) 情報部委員会
- 24日(木) 練馬支部学術講演会 講師・角田正健教授(母校)
- 25日(金) 芝支部懇親会 大山会長出席
- 26日(土) 鳥取県支部総会 関専務理事出席
学術講演会 講師・阿部伸一准教授(母校)
- 26日(土) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会
- 27日(日) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会
- 28日(月) 学術部委員会(企画会議)
- 29日(火) 保険部委員会
- 31日(木) 学術部委員会(研修委員会)
- 31日(木) 故井上 裕参議院議長・学校法人東京歯科大学理事長 自由民主党・東京歯科大学・井上家合同葬
- 8月1日(金) 学年代表連絡会(仮)打合せ会
- 3日(日) 学術部委員会(全体委員会)
- 9日(土) 宮崎県支部学術講演会 講師・柴原孝彦教授(母校)
- 19日(火) 学術部委員会(運営委員会)
- 20日(水) 学術部委員会(運営委員会)
- 22日(金) 会則等検討委員会
- 23日(土) 北海道地域支部連合会総会(札幌支部担当) 大山会長, 柳副会長, 戸田理事出席
- 25日(月) 広報部委員会(会報企画)
- 26日(火) 学術部委員会(企画会議)
- 26日(火) 保険部委員会
- 29日(金) 渉外部委員会
- 30日(土) 広島県支部総会 江崎副会長出席
学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)
- 9月1日(月) 学術部委員会(運営委員会)
- 2日(火) 東歯関係全国社会保険指導者懇談会・懇親会
- 4日(木) 第36回同窓会主催全国ゴルフ大会
- 6日(土) 関東地域支部連合会総会(栃木県支部担当) 大山会長, 関専務理事, 井原理事出席
学術講演会 講師・佐藤俊彦氏(株式会社ドクターネット代表取締役)
- 6日(土) 長野県連合会 片倉副会長出席
- 6日(土) 北信支部学術講演会 講師・清水 武氏(長野日赤 歯科口腔外科インプラント)
- 6日(土) 卒後研修セミナー〔実技セミナー(No.5 導入しよう! インプラント治療)〕
- 7日(日) 卒後研修セミナー〔実技セミナー(No.5 導入しよう! インプラント治療)〕
- 7日(日) 東海地域支部連合会総会(静岡県支部担当) 大山会長, 神谷副会長, 伊藤理事出席
学術講演会 講師・伊東 哲氏(静岡県開業)
- 10日(水) 第4回常任理事会
- 11日(木) 広報部委員会(会報編集)
- 11日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会
- 12日(金) 学術部委員会(将来像検討委員会)
- 19日(金) 情報部委員会
- 19日(金) 学術部委員会(研修委員会)
- 25日(木) 学術部委員会(運営委員会)
- 26日(金) 保険部委員会
- 29日(月) 学術部委員会(企画会議)

平成19年10月1日より平成20年9月30日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

山形	成原 浩一郎	岡山	早瀬 明夫	兵庫	大村 林木	埼玉	瀬端 正之
新宿	柴田 浩	麻布赤坂	児玉 良知	杉並	西井 東千代	東信	大角 成男
愛知	澤田 一夫	練馬	浅田 昭	中信	中田 幸一	埼玉	井原 泰次
静岡	後藤 清	兵庫	有馬 久男	茨城	田崎 久雄	川崎	杉田 二三男
広島	坂本 眞喜	大分	相良 宰	北多摩	関田 実	富山	深山 正之
札幌	結城 重之	千葉	眞榮田 義仁	神奈川相北	岡田 眞一	群馬	谷越 英之
愛媛	藤沢 暁美	墨田	武井 範彦	千葉	竹内 光春	青森	佐藤 京介
三重	稲浜 洋一	京都	椋棒 博	杉並	田中文 勝	北多摩	宇梶 淳
千葉	穴倉 寛一	大阪	大塚 信一郎	芝	岡本 傳	三重	山口 幸夫
新潟	清水 直彦	福岡	深山 博	三重	松井 俊憲	武蔵野	清水 琢磨
埼玉	杉田 道弘	岡山	佐藤 佳弘	丸の内	岡 駒雄	千葉	浮谷 實
滝野川	岡村 嘉道	富山	渡辺 綱男	愛知	堀部 昭美	横浜中央	関 幸一
大分	工藤 芳之	麻布赤坂	小早川 隆幸	世田谷	飯塚 喜一	岡山	今岡 太郎
山梨	山本 光之	中野	荒川 明		納富 正路	神奈川西湘	村上 嘉章
青森	工藤 幸男	兵庫	小野寺 清	北多摩	佐竹 理明	新潟	瀬高 良一
静岡	大角 陽一	愛知	安倍 英之助	秋田	中村 實	広島	藤井 正毅
山口	田中 博治	板橋	大平 秀明	杉並	神山 二郎	山梨	中川 孝男
千葉	河村 秀雄	八南	矢崎 欽也	北	大橋 鉄男	栃木	鈴木 基一
芝	藤田 純一	札幌	武田 俊信	芝	鎌田 守雄	兵庫	川越 久雄
富山	高田 尚文	函館	向山 英三	中信	矢島 一美	横浜北部	杉原 弘三
静岡	原崎 雅志	静岡	浅井 政晶	愛知	山田 力	神奈川湘南	前田 安胤
岡山	宮島 靖	大分	丸山 孝	神奈川湘南	岡 義治	神奈川湘南	小守 浩
日本橋	山 清	江戸川	田口 芳治	横浜北部	榊原 悠紀田郎	高知	横矢 重彦
愛知	金山 政一郎	武蔵野	水村 七五三彦	千葉	井上 裕	広島	佐々木 毅
岡山	伊木 信太郎	川崎	内山 和彦	新潟	渡辺 正男	西多摩	本間 章介
宮崎	本田 直勝	三重	松崎 邦夫	鹿児島	有木 光雄		林 東二
旭川	北 恭子	静岡	小野田 茂里	葛飾	佐藤 博	川崎	小西 保
世田谷	高野 雄幸	千葉	高木 照雄	千葉	黒田 直正	北多摩	興津 健
新潟	堀田 多可良	北多摩	矢島 中	千葉	舘脇 晴三	大阪	中村 光男
世田谷	田中 慎一郎	玉川	鈴木 眞	釧路	服部 幹夫	茨城	立原 健
町田	菅野 隆三	石川	牛村 宏	目黒	原田 望成		林 徹郎
群馬	神藤 義昭	江戸川	鹿野 善孝	練馬	内田 仁志	福島	二瓶 博美
栃木	三田 春美	北多摩	山口 和夫	三重	勝田 清和	静岡	亀井 正彦
横須賀・鎌倉	古屋 嘉男	埼玉	橋本 優	広島	矢野 浩介	埼玉	藤井 昭治
岩手	鈴木 鐘美						

(届出順 以上 137名)

平成20年度東京歯科大学同窓会厚生部報告

(自 平成19年10月1日 至 平成20年9月30日)

1. 火災、災害による罹災会員に共済規程第6条第1項二号に基づき罹災共済金（見舞金）を贈呈した会員は次のとおりです。

岩手県支部	吉田 允氏（昭37卒）	地震により住宅および診療所被害
青森県支部	宮川克孝氏（昭43卒）	地震により住宅および診療所被害
青森県支部	船越良一氏（昭47卒）	地震により住宅および診療所被害
青森県支部	畑山洋司氏（昭50卒）	地震により診療所被害
青森県支部	宮川聡文氏（平9卒）	地震により診療所被害
石川県支部	長田 稔氏（昭23卒）	集中豪雨により住宅兼診療所被害

以上6名 平成20年9月9日贈呈

愛知県支部	鳥居廣彰氏（昭37卒）	集中豪雨により住宅および診療所被害
-------	-------------	-------------------

以上1名 平成20年9月24日贈呈

以上7名

2. 共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰金を贈呈した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

山形	成原 浩一郎	岡山	早瀬 明夫	兵庫	大村 林木	埼玉	瀬端 正之
新宿	柴田 浩	麻布赤坂	児玉 良知	杉並	西井 東千代	東信	大角 成男
愛知	澤田 一夫	練馬	浅田 昭	中信	中田 幸一	埼玉	井原 泰次
静岡	後藤 清	兵庫	有馬 久男	茨城	田崎 久雄	川崎	杉田 二三男
広島	坂本 眞喜	大分	相良 宰	北多摩	関田 実	富山	深山 正之
千葉	眞榮田 義仁	神奈川相北	岡田 眞一	群馬	谷越 英之	愛媛	藤沢 暁美
墨田	武井 範彦	千葉	竹内 光春	青森	佐藤 京介	三重	稲浜 洋一
京都	椋棒 博	杉並	田中文 勝	北多摩	宇梶 淳	千葉	穴倉 寛一
大阪	大塚 信一郎	芝	岡本 傳	三重	山口 幸夫	新潟	清水 直彦
福岡	深山 博	三重	松井 俊憲	武蔵野	清水 琢磨	岡山	佐藤 佳弘
丸の内	岡 駒雄	千葉	浮谷 實	滝野川	岡村 嘉道	富山	渡辺 綱男
愛知	堀部 昭美	横浜中央	関 幸一	大分	工藤 芳之	麻布赤坂	小早川 隆幸
世田谷	飯塚 喜一	岡山	今岡 太郎	山梨	山本 光之	中野	荒川 明
神奈川西湘	村上 嘉章	青森	工藤 幸男	兵庫	小野寺 清	北多摩	佐竹 理明
新潟	瀬高 良一	静岡	大角 陽一	愛知	安倍 英之助	秋田	中村 實
広島	藤井 正毅	山口	田中 博治	板橋	大平 秀明	杉並	神山 二郎
山梨	中川 孝男	八南	矢崎 欽也	北	大橋 鉄男	芝	藤田 純一
札幌	武田 俊信	兵庫	川越 久雄	富山	高田 尚文	函館	向山 英三
中信	矢島 一美	横浜北部	杉原 弘三	静岡	原崎 雅志	静岡	浅井 政晶
愛知	山田 力	神奈川湘南	前田 安胤	岡山	宮島 靖	大分	丸山 孝
神奈川湘南	岡 義治	神奈川湘南	小守 浩	日本橋	山 清	江戸川	田口 芳治
横浜北部	榊原 悠紀田郎	高知	横矢 重彦	愛知	金山 政一郎	武蔵野	水村 七五三彦
千葉	井上 裕	広島	佐々木 毅	岡山	伊木 信太郎	川崎	内山 和彦
新潟	渡辺 正男	西多摩	本間 章介	三重	松崎 邦夫	鹿児島	有木 光雄
静岡	小野田 茂里	葛飾	佐藤 博	世田谷	高野 雄幸	千葉	高木 照雄
千葉	黒田 直正	新潟	堀田 多可良	北多摩	矢島 中	千葉	舘脇 晴三
大阪	中村 光男	釧路	服部 幹夫	茨城	立原 健	町田	菅野 隆三
石川	牛村 宏	目黒	原田 望成	群馬	神藤 義昭	江戸川	鹿野 善孝
練馬	内田 仁志	福島	二瓶 博美	栃木	三田 春美	北多摩	山口 和夫
三重	勝田 清和	静岡	亀井 正彦	横須賀・鎌倉	古屋 嘉男	埼玉	橋本 優
広島	矢野 浩介	埼玉	藤井 昭治	岩手	鈴木 鐘美		

(届出順 以上 123名)

第1号議案

平成19年度 東京歯科大学同窓会

経常部収支決算書

(自 平成19年1月1日)
(至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
会 費	115,240,000	89,899,800	25,340,200	78.0	昭和40～42年度 1,200円× 3人 昭和43～47年度 1,700円× 5人 昭和48年度 3,200円× 1人 昭和49年度 3,500円× 1人 昭和50年度 6,000円× 1人 昭和51年度 7,000円× 1人 昭和52年度 8,000円× 1人 昭和53年度 8,000円× 1人 昭和54年度 8,000円× 1人 昭和55年度 10,000円× 1人 昭和56年度 10,000円× 1人 昭和57年度 10,000円× 1人 昭和58年度 12,000円× 1人 昭和59年度 12,000円× 1人 昭和60年度 12,000円× 1人 昭和61年度 12,000円× 1人 昭和62年度 12,000円× 1人 昭和63年度 14,000円× 1人 平成元年度 14,000円× 3人 平成2年度 14,000円× 2人 平成3年度 14,000円× 3人 平成4年度 14,000円× 2人 平成5年度 14,000円× 1人 平成6年度 14,000円× 1人 平成7年度 14,000円× 1人 平成8年度 14,000円× 2人 平成9年度 14,000円× 3人 平成10年度 14,000円× 3人 平成11年度 20,000円× 3人 平成11年度 6,000円× 0人 平成12年度 20,000円× 3人 平成13年度 20,000円× 5人 平成14年度 18,000円× 6人 平成15年度 18,000円× 11人 平成16年度 18,000円× 19人 平成17年度 18,000円× 89人 平成18年度 18,000円× 1,006人 平成19年度 18,000円× 3,826人 平成17年度以前分 181人 2,923,800円 平成18年度分 1,006人 18,108,000円 平成19年度分 3,826人 68,868,000円 合 計 5,013人 89,899,800円
入 会 金	740,000	655,000	85,000	88.5	{ 新 卒 者 121人× 5,000 = 605,000 { 推 薦 会 員 1人× 50,000 = 50,000
雑 収 入	1,850,000	1,562,535	287,465	84.5	
前年度繰越金	14,000,000	19,488,838	△ 5,488,838	139.2	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 405,239 { 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 15,070,415 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000 { 三崎町郵便局通常郵便預金 13,184
合 計	131,830,000	111,606,173	20,223,827	84.7	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
事 務 費	38,390,000	32,190,596	6,199,404	83.9	
給 与 費	26,210,000	22,995,244	3,214,756	87.7	事務職員 役員他傷害保険
福 利 厚 生 費	240,000	136,960	103,040	57.1	
通 信 費	1,880,000	1,365,344	514,656	72.6	
印 刷 費	1,360,000	1,148,416	211,584	84.4	
備 品 購 入 費	470,000	97,412	372,588	20.7	
消 耗 品 費	470,000	317,637	152,363	67.6	
集 金 手 数 料	5,190,000	4,320,600	869,400	83.2	
保 守 管 理 委 託 費	2,140,000	1,373,400	766,600	64.2	
雑 費	430,000	435,583	△ 5,583	101.3	
事 業 費	70,800,000	43,844,650	26,955,350	61.9	
旅 費 交 通 費	28,950,000	23,249,670	5,700,330	80.3	同窓会会長賞他
総 務 関 係 費	5,520,000	137,262	5,382,738	2.5	
広 報 関 係 費	14,620,000	12,488,769	2,131,231	85.4	
渉 外 関 係 費	4,840,000	160,546	4,679,454	3.3	
保 険 関 係 費	620,000	6,000	614,000	1.0	
学 術 関 係 費	2,220,000	1,884,436	335,564	84.9	
厚 生 関 係 費	450,000	197,000	253,000	43.8	
情 報 関 係 費	900,000	44,154	855,846	4.9	
会 合 費	1,500,000	0	1,500,000	0.0	
交 際 費	8,410,000	3,686,712	4,723,288	43.8	
慶 弔 費	2,210,000	1,666,285	543,715	75.4	
雑 費	560,000	323,816	236,184	57.8	
会 議 費	2,800,000	2,449,841	350,159	87.5	
役 員 会 費	100,000	6,000	94,000	6.0	会議費 平成19年11月17日開催
評 議 員 会 費・総 会 費	2,500,000	2,102,944	397,056	84.1	
支 部 長 会 費	100,000	0	100,000	0.0	
雑 費	100,000	340,897	△ 240,897	340.9	
特別会計繰入金	3,840,000	0	3,840,000	0.0	次年度繰入(平成20年1月4日繰入予定)
同 窓 会 基 金	740,000	0	740,000	0.0	
血 脇 記 念 基 金	100,000	0	100,000	0.0	
名 簿 積 立 金	2,000,000	0	2,000,000	0.0	
退 職 積 立 金	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
予 備 費	16,000,000	0	16,000,000	0.0	
支 出 計	131,830,000	78,485,087	53,344,913	59.5	
次 年 度 繰 越 金	0	33,121,086	△33,121,086	0.0	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 1,004,268 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 28,103,613 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000 三崎町郵便局通常郵便預金 13,205
合 計	131,830,000	111,606,173	20,223,827	84.7	

第2号議案

平成19年度 東京歯科大学同窓会
同窓会基金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
(至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	740,000	0	740,000	0.0	利息
雑 収 入	10,000	46,050	△ 36,050	460.5	
前年度繰越金	25,290,000	24,940,604	349,396	98.6	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 752,342 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 12,000,000 みずほ信託銀行定期預金 5,000,000 みずほ信託銀行貸付信託 7,150,000 みずほ信託銀行金銭信託 38,262
合 計	26,040,000	24,986,654	1,053,346	96.0	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	26,040,000	24,986,654	1,053,346	96.0	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 779,296 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 12,000,000 みずほ信託銀行普通預金 57,358 みずほ信託銀行定期預金 12,150,000
合 計	26,040,000	24,986,654	1,053,346	96.0	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
血脇記念基金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
(至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	100,000	0	100,000	0.0	利息
雑 収 入	10,000	5,203	4,797	52.0	
前年度繰越金	4,530,000	4,498,587	31,413	99.3	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 498,587 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000
合 計	4,640,000	4,503,790	136,210	97.1	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	4,640,000	4,503,790	136,210	97.1	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 503,790 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000
合 計	4,640,000	4,503,790	136,210	97.1	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
 共済基金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
 (至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共済負担金	26,000,000	22,024,200	3,975,800	84.7	昭和40年度～42年度 300円× 3人 昭和43年度～48年度 800円× 6人 昭和49年度～51年度 1,500円× 3人 昭和52年度～53年度 2,000円× 2人 昭和54年度～55年度 3,000円× 2人 昭和56年度～平成11年度 4,000円× 32人 平成12年度 4,000円× 3人 平成13年度 4,000円× 5人 平成14年度 4,000円× 6人 平成15年度 4,000円× 11人 平成16年度 4,000円× 19人 平成17年度 4,000円× 89人 計 680,200円 181人 過年度分(平成17年度以前分)(181人) 680,200 過年度分(平成18年度分) (1,103人) 4,412,000 当年度分(平成19年度分) (4,233人) 16,932,000 計 (5,517人) 22,024,200
雑収入	20,000	264,009	△ 244,009	1320.0	利息
前年度繰越金	128,000,000	127,528,259	471,741	99.6	三菱東京UFJ銀行普通預金 9,867,957 三菱東京UFJ銀行定期預金 114,000,000 みずほ信託銀行貸付信託 3,450,000 みずほ信託銀行金銭信託 210,302
合 計	154,020,000	149,816,468	4,203,532	97.3	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共 済 金	26,000,000	22,430,000	3,570,000	86.3	弔慰共済金 20,400,000 (@200,000×102件) 罹災共済金 2,030,000 能登半島地震 (@ 70,000×2件) (@200,000×2件) 中越沖地震 (@ 70,000×7件) (@100,000×2件) (@200,000×4件)
事 務 費	220,000	141,250	78,750	64.2	弔慰共済金・罹災共済金送料等
予 備 費	5,800,000	0	5,800,000	0.0	
給付準備金	122,000,000	0	122,000,000	0.0	
次年度繰越金	0	127,245,218	△127,245,218	0.0	三菱東京UFJ銀行普通預金 9,579,511 三菱東京UFJ銀行定期預金 114,000,000 みずほ信託銀行貸付信託 1,000,000 みずほ信託銀行金銭信託 215,707 みずほ信託銀行定期預金 2,450,000
合 計	154,020,000	149,816,468	4,203,532	97.3	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
名簿積立金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
(至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	2,000,000	0	2,000,000	0.0	
雑 収 入	10,000	4,203	5,797	42.0	利息
前年度繰越金	10,280,000	9,606,840	673,160	93.5	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 2,606,840 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 7,000,000
合 計	12,290,000	9,611,043	2,678,957	78.2	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	12,290,000	9,611,043	2,678,957	78.2	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 2,611,043 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 7,000,000
合 計	12,290,000	9,611,043	2,678,957	78.2	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
退職積立金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
(至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
雑 収 入	10,000	9,748	252	97.5	利息
前年度繰越金	7,210,000	7,174,671	35,329	99.5	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 1,174,671 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 6,000,000
合 計	8,220,000	7,184,419	1,035,581	87.4	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	8,220,000	7,184,419	1,035,581	87.4	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 1,184,419 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 6,000,000
合 計	8,220,000	7,184,419	1,035,581	87.4	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
 卒後研修セミナー収支決算書

(自 平成19年1月1日)
 (至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
受 講 料	12,710,000	15,277,000	△ 2,567,000	120.2	1. 歯列咬合編 2,744,000 ①〔受講割引なし〕 No.1「小児咬合育成の基礎と実践」 一般 50,000×28人 1,400,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 No.1「小児咬合育成の基礎と実践」 一般 48,000×28人 1,344,000 (1日間) 2. 予防編 910,000 ①〔受講割引なし〕 No.2「はみがきの常識・非常識」 一般 13,000×15人 195,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 No.2「はみがきの常識・非常識」 一般 11,000×65人 715,000 (1日間) 3. 口腔外科編 1,694,000 ①〔受講割引なし〕 No.3「口腔外科の基本手技とその応用」 一般 50,000×7人 350,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 No.3「口腔外科の基本手技とその応用」 一般 48,000×28人 1,344,000 (1日間) 4. 保存治療編 3,108,000 ①〔受講割引なし〕 No.4「フラップオペレーションの実技」 一般 70,000×24人 1,680,000 (2日間) ②〔受講割引あり〕 No.4「フラップオペレーションの実技」 一般 68,000×21人 1,428,000 (2日間) 5. 欠損補綴編 6,210,000 ①〔受講割引なし〕 No.5「インプラント治療導入のABC」 一般 130,000×9人 1,170,000 (2日間) ②〔受講割引あり〕 No.5「インプラント治療導入のABC」 一般 128,000×21人 2,688,000 (2日間) ①〔受講割引なし〕 No.6「少数歯残存症例の咬合再構成」 一般 60,000×16人 960,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 No.6「少数歯残存症例の咬合再構成」 一般 58,000×24人 1,392,000 (1日間) 6. 卒研フォーラム 611,000 ①〔受講割引なし〕 No.7「総合治療 個々の技術をどう活かすか」 歯科医師 8,000×64人 512,000 (1日間) コ・デンタルスタッフ 5,000×3人 15,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 No.7「総合治療 個々の技術をどう活かすか」 歯科医師 6,000×14人 84,000 (1日間) コ・デンタルスタッフ 3,000×0人 0 (1日間) 合 計 15,277,000
雑 収 入	20,000	107,423	△ 87,423	537.1	テキスト代 99,000 利息 8,423
前年度繰越金	4,500,000	4,900,925	△ 400,925	108.9	三菱東京UFJ銀行普通預金 4,900,925
合 計	17,230,000	20,285,348	△ 3,055,348	117.7	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
事 業 費	15,750,000	13,002,224	2,747,776	82.6	
講師謝礼費	3,520,000	2,226,000	1,294,000	63.2	講師謝礼
講師旅費	1,400,000	900,500	499,500	64.3	セミナー旅費
資料作成費	1,000,000	981,750	18,250	98.2	テキスト作成費等
実習器材費	3,730,000	4,952,425	△ 1,222,425	132.8	実習器材他
役 務 費	1,700,000	1,518,300	181,700	89.3	
設 営 費	1,400,000	1,155,158	244,842	82.5	
印刷広報費	800,000	448,245	351,755	56.0	封筒, 葉書
受講証関係費	100,000	95,991	4,009	96.0	
広 告 費	1,500,000	707,700	792,300	47.2	
渉 外 費	600,000	16,155	583,845	2.7	
事 務 費	800,000	490,500	309,500	61.3	
通信運搬費	600,000	382,603	217,397	63.8	通信費, 振込手数料
消耗品費	100,000	87,602	12,398	87.6	
雑 費	100,000	20,295	79,705	20.3	
公 租 公 課	380,000	481,600	△ 101,600	126.7	消費税
予 備 費	300,000	0	300,000	0.0	
小 計	17,230,000	13,974,324	3,255,676	81.1	
次年度繰越金	0	6,311,024	△ 6,311,024	0.0	三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,311,024
合 計	17,230,000	20,285,348	△ 3,055,348	117.7	

平成19年度 東京歯科大学同窓会
 卒業研修セミナー積立金収支決算書

(自 平成19年1月1日)
 (至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印= 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
雑 収 入	10,000	43,488	△ 33,488	434.9	利息
前年度繰越金	20,390,000	20,380,358	9,642	100.0	{ みずほ信託銀行普通預金 1,380,358 { みずほ信託銀行定期預金 19,000,000 ① 9,000,000(満期日19.12.18) ②10,000,000(満期日19.12.18)
合 計	20,400,000	20,423,846	△ 23,846	100.1	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	20,400,000	20,423,846	△ 23,846	100.1	{ みずほ信託銀行普通預金 1,423,846 { みずほ信託銀行定期預金 19,000,000 ① 9,000,000(満期日20.12.18) ②10,000,000(満期日20.12.18)
合 計	20,400,000	20,423,846	△ 23,846	100.1	

第4号議案

平成19年度 東京歯科大学同窓会
 総合政策費積立金会計収支決算書

(自 平成19年1月1日)
 (至 平成19年12月31日)

(収入の部)

△印= 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
繰 入 金	5,000,000	0	5,000,000	0.0	
雑 収 入	10,000	9,011	989	90.1	利息
前年度繰越金	21,040,000	21,002,231	37,769	99.8	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,002,231 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 15,000,000
合 計	26,050,000	21,011,242	5,038,758	80.7	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	26,050,000	21,011,242	5,038,758	80.7	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,011,242 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 15,000,000
合 計	26,050,000	21,011,242	5,038,758	80.7	

財 産 目 録

平成19年12月31日

1. 備 品

機 器 備 品

品 目	数量	購入年月	購入価格	備 考
1 収納戸棚	3	H 9. 10	370, 650	
2 書類保管庫	3	H13. 4	370, 482	
3 パソコン NEC PCLL 500	3	H13. 12	483, 000	WIN
4 パソコン NEC PCLL 500	1	H14. 8	150, 360	WIN
5 パソコン MAC i Book	1	H14. 8	180, 390	MAC
6 パソコン IBM A 22	1	H14. 8	195, 720	WIN
7 プロジェクター Epson	1	H14. 8	338, 100	
8 ビデオカメラ	1	H19. 12	138, 906	
9 プロジェクター	1	H19. 12	279, 800	
計 9 品 目	15		2, 507, 408	

電 話 加 入 権

品 目	数量	購入年月	購入価格	備 考
1 電話加入権	2回線	H 2. 3	149, 968	@74, 984
2 電話加入権	1回線	H15. 8	76, 440	
計			226, 408	

消 耗 備 品

品 目	数 量	購入価格	備 考
1 冷蔵庫 他	51点	2, 787, 196	

2. 普通預金, 定期預金, 貸付信託, 金銭信託

会計区分	種類	預金残高	取引銀行
(1) 経常部	普通預金	1,004,268	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	〃	28,103,613	〃 〃
	定期預金	4,000,000	〃 〃
	通常郵便預金	13,205	三崎町郵便局
計		33,121,086	
(2) 共済基金	普通預金	9,579,511	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	114,000,000	〃 〃
	貸付信託	1,000,000	みずほ信託銀行 本店
	金銭信託	215,707	〃 〃
	定期預金	2,450,000	〃 〃
計		127,245,218	
(3) 同窓会基金	普通預金	779,296	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	12,000,000	〃 〃
	普通預金	57,358	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	12,150,000	〃 〃
計		24,986,654	
(4) 血脇記念基金	普通預金	503,790	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	4,000,000	〃 〃
計		4,503,790	
(5) 名簿積立金	普通預金	2,611,043	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	7,000,000	〃 〃
計		9,611,043	
(6) 退職積立金	普通預金	1,184,419	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	6,000,000	〃 〃
計		7,184,419	
(7) 卒後研修セミナー	普通預金	6,311,024	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		6,311,024	
(8) 卒後研修セミナー積立金	普通預金	1,423,846	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	19,000,000	〃 〃
計		20,423,846	
(9) 総合政策費積立金	普通預金	6,011,242	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	15,000,000	〃 〃
計		21,011,242	
合計		254,398,322	

監 査 報 告

平成19年度東京歯科大学同窓会業務運営状況及び経常部収支決算書，特別会計収支決算書（即ち，同窓会基金決算，血協記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算），卒後研修セミナー収支決算書，卒後研修セミナー積立金収支決算書，総合政策費積立金会計収支決算書，及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成20年4月23日

常任監事	浅野 薫 之	Ⓜ
監 事	原 武 仁	Ⓜ
監 事	平 井 義 人	Ⓜ

第6号議案

財産（備品）廃棄処分目録

1. パソコン NEC PCLL 500 3台

平成13年12月に購入，年数経過と共に故障が多くなり使用に耐えられないため。

2. パソコン NEC PCLL 500 1台

平成14年8月に購入，年数経過と共に故障が多くなり使用に耐えられないため。

第7号議案

平成21年度事業計画（案）

総務部

1. 諸会合の準備と調整並びに運営を行う。
2. 会員の入退会の迅速なる確認を行い、かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校、父兄会、学生との連携を図る。
4. 会則等の見直しを行う。
5. 母校創立120周年記念事業に協力する。
6. 会員名簿を発行する。（名簿編集委員会に委嘱）

渉外部

1. 各歯科大学同窓会、校友会との交流を図り、緊密なる友好を深める。
2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
3. 母校との連携のもとに国、公、私的機関等と協力し、人材の確保、育成に努める。

学術部

1. TDC 卒後研修セミナーを開催する。
2. 地域支部連合会、支部における講演会、研修活動を支援する。
3. 各大学の同窓会学術担当者との情報交換を行う。
4. 学術情報の収集、分析および提供を図る。
5. 母校臨床研修医制度に協力する。

広報部

1. 会報を年6回発行し、会員との情報交換を図る。

厚生部

1. 共済制度の健全なる運営を行う。
2. 会員厚生事業の充実を図る。
3. 同窓会主催全国ゴルフ大会を開催する。
4. 委嘱医制度の構築を図る。
5. 保険業法改正による共済制度に対応する。

保険部

1. 医療保険制度等の調査、研究を行う。
2. 医療保険情報等の提供を行う。
3. 医療保険関係者等との交流を行う。

情報部

1. 母校、支部、クラス会および会員の情報を収集し、会員に伝達する。
2. 同窓会各部との連携を推進し、同窓会事業の充実と効率化に協力する。
3. ホームページの維持管理を行う。
4. 会員名簿および会費管理に協力する。
5. 同窓会事務 OA 化の環境整備に協力する。

第8号議案

平成21年度入会金について

平成21年度 入会金現行通り本学出身の会員5,000円, 推薦会員50,000円

第9号議案

平成21年度会費について

平成21年度 会費現行通り 18,000円

第10号議案

平成21年度 東京歯科大学同窓会 経常部収支予算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

(収入の部)

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	前年度との 比 較	対比	摘 要
会 費	115,420,000	109,000,000	6,420,000	94.4	{ 過年度分(平成19年度以前分) 700人 10,000,000 過年度分(平成20年度以前分) 1,000人 18,000,000 当年度分(平成21年度以前分) 4,500人 81,000,000 合計 6,200人 109,000,000
入 会 金	740,000	740,000	0	100.0	{ 新卒者 5,000 128人 その他 50,000 2人
雑 収 入	1,850,000	1,850,000	0	100.0	会報広告料他
収 入 計	118,010,000	111,590,000	6,420,000	94.6	
前年度繰越金	14,000,000	19,000,000	△ 5,000,000	135.7	
合 計	132,010,000	130,590,000	1,420,000	98.9	

(支出の部)

科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	前年度との 比 較	対比	摘 要
事 務 費	38,460,000 ^円	38,870,000 ^円	△ 410,000 ^円	101.1 [%]	
給 与 費	26,160,000	23,310,000	2,850,000	89.1	新設 本部同窓会事務室使用料
福 利 厚 生 費	230,000	270,000	△ 40,000	117.4	
地 代 家 賃	0	3,600,000	△ 3,600,000	0.0	
通 信 費	1,900,000	1,760,000	140,000	92.6	
印 刷 費	1,460,000	1,460,000	0	100.0	
備 品 購 入 費	470,000	500,000	△ 30,000	106.4	
消 耗 品 費	470,000	470,000	0	100.0	
集 金 手 数 料	5,200,000	4,590,000	610,000	88.3	
保 守 管 理 委 託 費	2,140,000	2,460,000	△ 320,000	115.0	
雑 費	430,000	450,000	△ 20,000	104.7	
事 業 費	71,470,000	66,630,000	4,840,000	93.2	
旅 費 交 通 費	28,950,000	30,180,000	△ 1,230,000	104.2	理事会 6 回・常任理事会 5 回
総 務 関 係 費	5,520,000	1,520,000	4,000,000	27.5	
広 報 関 係 費	14,620,000	14,460,000	160,000	98.9	
渉 外 関 係 費	4,840,000	2,940,000	1,900,000	60.7	
保 険 関 係 費	620,000	620,000	0	100.0	
学 術 関 係 費	2,220,000	2,720,000	△ 500,000	122.5	
厚 生 関 係 費	450,000	450,000	0	100.0	
情 報 関 係 費	900,000	900,000	0	100.0	
会 合 費	1,500,000	1,500,000	0	100.0	
交 際 費	8,910,000	8,810,000	100,000	98.9	
慶 弔 費	2,210,000	1,930,000	280,000	87.3	
雑 費	730,000	600,000	130,000	82.2	
会 議 費	2,800,000	3,050,000	△ 250,000	108.9	
役 員 会 費	100,000	100,000	0	100.0	
評 議 員 会 費	1,700,000	1,700,000	0	100.0	
総 会 費	800,000	800,000	0	100.0	
支 部 長 会 費	100,000	100,000	0	100.0	
雑 費	100,000	350,000	△ 250,000	350.0	
特別会計繰入金	3,840,000	4,570,000	△ 730,000	119.0	
同 窓 会 基 金	740,000	740,000	0	100.0	
血 脇 記 念 基 金	100,000	100,000	0	100.0	
名 簿 積 立 金	2,000,000	2,730,000	△ 730,000	136.5	
退 職 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
支 出 計	116,570,000	113,120,000	3,450,000	97.0	
予 備 費	15,440,000	17,470,000	△ 2,030,000	113.1	
合 計	132,010,000	130,590,000	1,420,000	98.9	

第11号議案

平成21年度 東京歯科大学同窓会

同窓会基金収支予算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	740,000	740,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 繰 越 金	26,790,000	27,540,000	
前 年 度 繰 越 金	26,040,000	26,790,000					
合 計	26,790,000	27,540,000		合 計	26,790,000	27,540,000	

平成21年度 東京歯科大学同窓会

血脇記念基金収支予算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	100,000	100,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 繰 越 金	4,750,000	4,860,000	
前 年 度 繰 越 金	4,640,000	4,750,000					
合 計	4,750,000	4,860,000		合 計	4,750,000	4,860,000	

平成21年度 東京歯科大学同窓会
共 済 基 金 収 支 予 算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
共 済 負 担 金	26,000,000 円	19,650,000 円	過年度分(平成19年度以前分) 607人 2,290,000 過年度分(平成20年度分) 1,025人 4,100,000 当年度分(平成21年度分) 4,420人 13,260,000 ※平成21年度より共済負担金は、4,000円から3,000 円に減額 合 計 6,052人 19,650,000
雑 収 入	20,000	20,000	利息
収 入 計	26,020,000	19,670,000	
前年度繰越金	127,800,000	121,800,000	
合 計	153,820,000	141,470,000	

(支出の部)

科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
共 済 金	26,000,000 円	19,750,000 円	弔慰共済金 12,200,000 (100,000×122件) 罹災共済金 2,050,000 (火災・風水害・地震) 80歳祝金 5,500,000 ※平成21年度より弔慰共済金は200,000円から 100,000円に減額 80歳祝金50,000円を新設
事 務 費	220,000	220,000	切手等
予 備 費	5,800,000	6,000,000	
給 付 準 備 金	121,800,000	115,500,000	
支 出 計	153,820,000	141,470,000	
合 計	153,820,000	141,470,000	

平成21年度 東京歯科大学同窓会
名簿積立金収支予算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	2,000,000	2,730,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	通 信 費	0	1,230,000	名簿記載事項 確認書送料
				印 刷 費	0	15,710,000	名簿作成費他
				雑 費	0	100,000	名簿表紙デザ イン料
前 年 度 繰 越 金	12,290,000	14,300,000		次 年 度 繰 越 金	14,300,000	0	
合 計	14,300,000	17,040,000		合 計	14,300,000	17,040,000	

平成21年度 東京歯科大学同窓会
退職積立金収支予算

(自 平成21年1月1日)
(至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 繰 越 金	9,230,000	1,670,000	
前 年 度 繰 越 金	8,220,000	660,000					
合 計	9,230,000	1,670,000		合 計	9,230,000	1,670,000	

第12号議案

平成21年度 東京歯科大学同窓会
 卒後研修セミナー収支予算

(自 平成21年1月1日)
 (至 平成21年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
	円	円	
受 講 料	13,760,000	10,870,000	1. MTM 95,000×40名=3,800,000 2. 歯冠修復 50,000×32名=1,600,000 3. 麻酔 35,000×26名= 910,000 10,000×26名= 260,000 4. 歯内療法 50,000×32名=1,600,000 5. FOP 50,000×36名=1,800,000 6. X線 25,000×32名= 800,000 7. 卒研フォーラム 5,000×20名= 100,000
雑 収 入	20,000	20,000	利息, その他
繰 入 金	1,000,000	400,000	卒後研修セミナー積立金会計より繰入
収 入 計	14,780,000	11,290,000	
前年度繰越金	5,000,000	5,000,000	
合 計	19,780,000	16,290,000	

(支出の部)

科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
事 業 費	18,200,000 ^円	14,900,000 ^円	
講師謝礼費	3,800,000	3,300,000	1. 講師 2,500,000 2. 実習講師 800,000
講師旅費	1,500,000	1,500,000	講師旅費交通費, 宿泊費
資料作成費	1,100,000	900,000	1. 実習用資料 500,000 2. 講演用資料 400,000
実習器材費	4,500,000	4,000,000	1. 実習用器材 3,800,000 2. 講演用器材 200,000
役 務 費	1,700,000	1,400,000	1. セミナー役務 500,000 2. 運営役務 340,000 3. 実習インストラクター 330,000 4. 症例発表 230,000
設 営 費	1,600,000	1,200,000	1. スライド関連費 200,000 2. 運営資材費 400,000 3. 演者・受講者昼食 400,000 4. 消耗品費 200,000
印刷広報費	800,000	700,000	研修用プログラム印刷他
受講証関係費	100,000	100,000	
広 告 費	1,500,000	1,000,000	1. 雑誌広告 800,000 2. DM料 200,000
渉 外 費	600,000	400,000	講師打合せ会費
会 場 費	1,000,000	400,000	
事 務 費	800,000	700,000	
通信運搬費	600,000	500,000	プログラム発送・セミナー案内ハガキ他
消 耗 品 費	100,000	100,000	
雑 費	100,000	100,000	
公 租 公 課	480,000	480,000	消費税
小 計	19,480,000	16,080,000	
予 備 費	300,000	210,000	
合 計	19,780,000	16,290,000	

平成21年度 東京歯科大学同窓会
 卒後研修セミナー積立金収支予算

(自 平成21年1月1日)
 (至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
雑 収 入	10,000 ^円	10,000 ^円	利息	繰 入 金 出	1,000,000 ^円	400,000 ^円	卒後研修セ ミナー予算 に繰入
前 年 度 繰 越 金	20,400,000	19,410,000		次 年 度 繰 越 金	19,410,000	19,020,000	
合 計	20,410,000	19,420,000		合 計	20,410,000	19,420,000	

第13号議案

平成21年度 東京歯科大学同窓会
 時局対策費積立金会計収支予算

(自 平成21年1月1日)
 (至 平成21年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成20年度 予 算	平成21年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	5,000,000 ^円	1,000,000 ^円	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 繰 越 金	31,060,000	32,070,000	
前 年 度 繰 越 金	26,050,000	31,060,000					
合 計	31,060,000	32,070,000		合 計	31,060,000	32,070,000	

第14号議案

平成21年度 名誉会員の推薦

本会会則第22条第2項並びに同施行細則第8条第1項一号に基づき次の会員を本会名誉会員に推薦する。

東京歯科大学名誉教授 奥 田 克 爾 氏
前東京歯科大学 微生物学講座
(平成20年3月31日退職)
平成20年4月1日 東京歯科大学名誉教授

東京歯科大学名誉教授 高 橋 正 憲 氏
前東京歯科大学 市川総合病院 リハビリテーション科
(平成20年3月31日退職)
平成20年4月1日 東京歯科大学名誉教授

第15号議案

東京歯科大学同窓会共済規程の変更

同窓会報同封の別刷り参照

第16号議案

平成21年度 共済負担金

年額 3,000円 (現行4000円)

第17号議案

東京歯科大学同窓会会則一部変更を 求むるの件

会則変更部について2月号に掲載予定

第18号議案

同窓会員3名における 一連の事件に関わる対応について